

令和6年度

個別の主要施策の概要

Overview of individual major measures

2024

令和6年2月



令和6年度「広報広聴事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	総務課		所管係名	秘書広報係								
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	6,334 千円					
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	3	効果的な広報広聴			最終予算額	6,334 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源			一般財源					
	金 額	7,262 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	126 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	7,136 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	1.7 %	0.0 %	0.0 %	98.3 %				
	特定財源の名称						広告料	-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
2		総務費	8	旅費	37 千円	広報セミナー旅費						
			10	需用費	4,010 千円	消耗品費38千円、広報くにも印刷製本費3,972千円						
1		総務管理費	11	役務費	2,000 千円	広告費2,000千円						
			13	使用料及び賃借料	1,190 千円	LINEアプリケーション使用料1,191千円						
2		文書広報費	18	負担金補助及び交付金	25 千円	日本広報協会15千円、広報研修負担金10千円						
			目名称		千円							
事業の目的	広報くにも、新聞などのマスメディア、ホームページ、SNSなどさまざまな媒体を活用して町の情報を発信する。タウンミーティングなどにより広聴事業の充実を図る。											
事業の概要	①広報くにもの発行 ②新聞などマスメディアの広告 ③ホームページ、SNSなどによる情報発信 ④情報発信に関する研修 ⑤タウンミーティング など											
事業の効果	各媒体を活用した発信により町内外へ効果的に情報を伝え、それぞれのターゲットに応じた情報発信ができる。また、タウンミーティングなどにより町民の個別の声を聴き、政策課題に反映することができる。											
次年度以降の見込み	庁内での連携を図り効果的な情報発信を展開するとともに、タウンミーティングを継続する。											



令和6年度「観月台公園維持管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	総務課		所管係名	財政係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	7,844 千円	
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	千円	
	施 策 名	2	公園緑地と景観の保全			最終予算額	7,844 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,046 千円	千円	千円	千円	千円	2,046 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	10	需用費	933 千円	消耗品費、電気料、水道料、修繕料	
				11	役務費	40 千円	建物災害共済	
		1	総務管理費	12	委託料	873 千円	観月台公園管理、除草等業務	
				14	工事請負費	200 千円	施設整備工事	
					千円			
				千円				
5	財産管理費			千円				
				千円				
事業の目的	●観月台公園の維持管理をする。					 		
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ●公園の遊具や柵の点検整備し安全性を確保する。 ●樹木等の伐採を実施し、景観の向上に努める。 							
事業の効果	●公園の維持管理をすることにより、町民が安心して利用することができる。							
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ●次年度以降についても、引き続き継続して行う。 ●改修基本計画業務を、継続して行う。 							

令和6年度「70周年記念事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	総務課		所管係名	庶務係				
総合計画上の 位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	0 千円	
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進			最終予算額	0 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	8,383 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	8,383 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務	1	報償費	693 千円	表彰者、来場者記念品693	
8				旅費	63 千円	実行委員会費用弁償63		
項		項名称	10	需用費	375 千円	消耗品100、式典費275		
1		総務管理費	11	役務費	7,252 千円	式典運営2000、ホームページ運営5052		
			12	委託料	千円			
目		目名称			千円			
1	一般管理費			千円				
事業の目的	国見町が誕生して70周年の節目を祝うとともに、過去の歴史を振り返り、功労者、関係者、国見町民に対して感謝の意を表すことを目的とする。							
事業の概要	①国見町合併70周年記念式典の実施 ②発行1号からの広報くにみのHP掲載							
事業の効果	記念式典を行うことで将来への展望や目標を共有しあい、協働のまちづくりへと繋げる。							
次年度以降の見込み	10年後(2034年)に合併80周年記念式典を実施。							

令和6年度「ふるさと国見町応援寄付金事業」の概要

所管課名	総務課		所管係名	財政係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	200,004 千円				
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			補正額（12月補正まで）	100,000 千円				
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			最終予算額	300,004 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	211,002 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	211,002 千円	千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %				
	特定財源の名称						ふるさと振興基金利子、ふるさと国見町応援寄付金	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務費	11	役務費	5,234 千円	決済手数料					
			12	委託料	66,901 千円	ふるさと納税業務委託料（返礼品代、発送代行料、送料等）					
1		総務管理費	13	使用料及び賃借料	30,817 千円	決済等管理システム使用料					
			24	積立金	108,050 千円	ふるさと振興基金積立金（ふるさと納税収益分）、ふるさと振興基金積立金（利子分）					
目		目名称			千円						
8		企画費			千円						
				千円							
事業の目的	●ふるさと納税を通して、自主財源を確保するとともに、返礼品により国見町の特産品及び魅力を全国に幅広く発信する。										
事業の概要	●ふるさと納税者に返礼品を贈呈 ①令和3年度寄附金額実績 95,104千円 寄附者数 5,558人 ②令和4年度寄附金額実績 209,793千円 寄附者数 5,422人 ③令和5年度寄附金額実績 230,689千円 寄附者数 4,910人（令和6年2月1日現在）										
事業の効果	●ふるさと納税によって自主財源を確保するとともに、返礼品により国見町の特産品や魅力が全国に発信される。										
次年度以降の見込み	●返礼品の拡充を図り、ふるさと納税のリピーターの確保に向けた取り組みを行う。										

令和6年度「総合計画推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係			
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	313 千円
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち（行財政）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	持続可能な行財政運営			最終予算額	313 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	326 千円	千円	千円	千円	千円	326 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	1	報酬	294 千円	総合計画審議会委員報酬2回分	
			8	旅費	15 千円	総合計画審議会委員費用弁償4、普通旅費11	
項		項名称	10	需用費	17 千円	消耗品費	
1		総務管理費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
8	企画費			千円			
				千円			
事業の目的	町総合計画、総合戦略、過疎地域持続的発展計画の進捗管理を的確に行うことにより、各施策間の調整、年度間の事業の調整等を行う。						
事業の概要	①総合計画審議会の開催 ②総合計画、総合戦略、過疎地域持続的発展計画の進捗管理 ③総合計画検証、評価等の実施						
事業の効果	適切な進捗管理を行うことにより、町の施策の継続的な実施、公平公正な町政を実現し、町の維持発展が図られる。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						



令和6年度「まちづくり推進事業」の概要

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	20,747 千円	
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち（協働）			補正額（12月補正まで）	千円	
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進			最終予算額	20,747 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	17,047 千円		千円	千円	千円	5,334 千円	11,713 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	31.3 %	68.7 %
	特定財源の名称						みらいを描く市町村等支援事業助成金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	8	旅費	155 千円	普通旅費	
				10	需用費	76 千円	消耗品費10、印刷製本費66	
		1	総務管理費	11	役務費	66 千円	キャラクタークリーニング 66	
				12	委託料	3,000 千円	義経まつりイベント3,000	
			18	負担金補助及び交付金	13,750 千円	まちづくり推進協議会13,250、東京ふるさと国見会500		
目		目名称			千円			
8	企画費			千円				
事業の目的	地域づくり・地域活性化に関する事業の支援を行うことで、国見町全体の活性化を主な目的とする。					 <p style="text-align: center;">フォトコンテスト写真</p> 		
事業の概要	①まちづくり推進協議会の運営補助・フォトコンテストの開催 ②義経まつりイベントの実施 ③東京ふるさと国見会の総会・交流会等の開催							
事業の効果	各事業・イベントについて実行委員会と協力して実施したことによる協働意識の醸成、補助団体ごとの企画のブラッシュアップが図られている。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							

令和6年度「定住化促進総合対策事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課	所管係名	過疎対策係								
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	32,142 千円				
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）			補正額（12月補正まで）	7,000 千円				
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	39,142 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	32,136 千円	国庫支出金	6,000 千円	県支出金	8,600 千円	地方債	4,500 千円	その他	1,416 千円	11,620 千円
	構成比	100.0 %	18.7 %	26.8 %	14.0 %	4.4 %	36.2 %				
	特定財源の名称		●デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）（頁） ●福島再生加速化交付金（地域魅力向上）（頁）		●地方創生推進交付金（移住・起業・就業支援）（頁） ●地域創生総合支援事業補助金（頁） ●来てふくしま住宅取得支援（頁）		●移住・定住者奨励金交付事業債		●行政財産使用料（頁）		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		2	総務費	7	報償費	42 千円	委員報償				
				8	旅費	247 千円	費用弁償158 普通旅費89				
		1	総務管理費	10	需用費	11 千円	消耗品費				
				11	役務費	10 千円	火災保険料				
		目	目名称	12	委託料	12,800 千円	地域プロモーション（国見版CI策定9,800、魅力ポータルサイト2,000、SNS幸せ発信1,000）				
14				工事請負費	100 千円	大坂オフィス施設修繕工事					
8		企画費	18	負担金補助及び交付金	18,925 千円	負担金235（圏域移住定住促進協議会85、移住フェア150）補助金18,690（移住支援金7,800、住宅取得9,000、空家改修1,800、宅地購入利子90）					
	27		繰出金	1 千円	土地開発事業特別会計へ（存目）						
事業の目的	首都圏など町外からの移住定住、二地域居住の促進を図り、人口減少に歯止めをかける。										
事業の概要	①ブランディング、情報発信のためのコーポレートアイデンティティ（CI）策定・活用 ②関係人口創出や移住定住促進につながるポータルサイト、SNSでの情報発信 ③移住者に対する支援金の交付、住宅取得及び空家改修等の補助										
事業の効果	町の魅力をPRし、移住、定住、二地域居住者を誘導することによって、地域活性化が図られる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。										

令和6年度「国見ホイスコーレ事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	9,451 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	2	地域とともにある教育			最終予算額	9,451 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	8,000 千円	3,500 千円	750 千円	千円	千円	3,750 千円
	構成比	100.0 %	43.8 %	9.4 %	0.0 %	0.0 %	46.9 %
	特定財源の名称		福島再生加速化交付金（地域魅力向上）、デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）	地域創生総合支援事業（サポート事業）補助金			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	12	委託料	8,000 千円	企業支援ラボ5,000、クニミノマド2,000、幸せ発見事業1,000	
		項		項名称	千円		
		1	総務管理費		千円		
			目	目名称	千円		
		8	企画費		千円		
事業の目的	若者を地域ぐるみで育成することで、未来の国見町を担う人物を育てると同時に地域住民も若者への理解を深め、相互の繋がりを促進する。また、その感性や柔軟な発想をまちづくりや起業、商品開発などへと繋げる。						
事業の概要	①起業支援ラボの実施（起業や商品開発をしたい人を対象に授業形式のラボ） ②関係人口創出・クニミノマド（町外からの誘導、桃の木オーナー） ③幸せ発見事業（関係人口創出や移住定住促進につながる町の魅力発見事業を実施）						
事業の効果	地域資源を活かした地域での多様な交流・学びの場を設けることで、特に若者の「思考力・表現力・判断力」「学ぶ意欲・姿勢」を育成するとともに、関係人口も含めた地域への愛着を醸成する。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						



令和6年度「交流連携推進事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係				
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり			前 年 度	当初予算額	21,961 千円
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）				補正額（12月補正まで）	660 千円
	施 策 名	1	交流連携の推進				最終予算額	22,621 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	1,223 千円		千円	千円	千円	200 千円	1,023 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	16.4 %	83.6 %
	特定財源の名称						みらいを描く市町村等支援事業助成金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	275 千円	事業謝礼	
8				旅費	209 千円	域学連携203、普通旅費6		
1		総務管理費	10	需用費	349 千円	消耗品費124、会議費44、対外交流費20、印刷製本費111、賄材料費50		
			12	委託料	100 千円	福島ユナイテッドFC		
8		企画費	18	負担金補助及び交付金	290 千円	福島ユナイテッドFC200、国際交流10、活性化センター80		
					千円			
事業の目的	域学連携、包括連携、地域間交流などの事業実施により、交流連携の推進と関係人口の拡大を図り、地域活性化と地域の人材育成に寄与する。民間企業との連携により、新産業創出をめざした取り組みを進める。							
事業の概要	①集落活性化やまちづくりに関する大学や高校との域学連携 ②金融機関・企業との包括的な連携(信金、福島ユナイテッドFC) ③圏域連携中枢都市圏内での交流連携、国際交流の推進 ④農産物関係人口創出							
事業の効果	各種、各層での交流連携を図ることにより、交流人口、関係人口の拡大、雇用の拡大が図られる							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							



令和6年度「地域おこし協力隊活動事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	総合政策係				
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	50,735 千円	
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）			補正額（12月補正まで）	(8,550) 千円	
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	42,185 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債			その他
	金 額	38,087 千円		千円	千円	千円	38,087 千円	千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %
	特定財源の名称						●特別交付税措置	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	1	報酬	8,465 千円	地域おこし協力隊報酬（4人）	
2				給料	5,196 千円	地域おこし協力隊給料（2人）		
1		総務管理費	3	職員手当等	5,067 千円	地域おこし協力隊期末勤勉手当等（6人）		
			4	共済費	5,067 千円	地域おこし協力隊共済組合（6人）		
目		目名称	7	報償費	960 千円	協力隊インターン（お試し活動）報償費		
			11	役務費	41 千円	自動車損害共済		
8		企画費	12	委託料	12,800 千円	活動費6人9,000、募集1,000、インターン1,000、サポート1,800		
	13		使用料及び賃借料	491 千円	協力隊用自動車借上料			
事業の目的	人口減少と少子高齢化が著しい本町において、町外の人材を積極的に誘致し、もって地域の活力維持と地域活性化の担い手となる人材の確保を目的とする。							
事業の概要	①関係人口創出に関する活動 ②地域ブランド開発に関する活動							
事業の効果	協力隊員の熱意と行動力が地域に大きな刺激を与えることによって地域活性化が促進される。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							

令和6年度「歴史まちづくり事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,784 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	4,784 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	3,207 千円	0 千円	千円	千円	133 千円	3,074 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	4.1 %	95.9 %
	特定財源の名称						●みらいを描く市町村等 支援事業助成金(●頁)
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	2	総務費	7	報償費	381 千円	歴史的風致維持向上計画協議会361、くにも案内人育成事業20	
			8	旅費	512 千円	協議会委員費用弁償266、くにも案内人活動92、普通旅費154	
	項	項名称	10	需用費	10 千円	事務用品	
	1	総務管理費	11	役務費	14 千円	くにも案内人安全保険料	
			12	委託料	1,165 千円	歴史まちづくりイベント1,110、音旅保守管理55	
	目	目名称	13	使用料及び貸借料	75 千円	自動車借上げ（案内人活動）	
10	歴史まちづくり推進費	18	負担金補助及び交付金	1,050 千円	歴史ウォーク事業1,000、歴史的景観都市協議会50		
					千円		
事業の目的	国見町歴史的風致維持向上計画に基づく「歴史を活かしたまちづくり」への町民意識の醸成・啓蒙活動・調査研究・情報発信に寄与する事業を実施するもの						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 歴史まちづくりイベント：歴史館イベント・シンポジウム等を歴史まちづくりフォーラムへ委託（一部みらいを描く市町村等支援事業助成金） 歴史ウォーク事業：文化財施設を巡るウォーキングイベント 						
事業の効果	阿津賀志山防塁等、国見町を代表する歴史資源を活用したイベントを開催することで、住民参画による歴史まちづくりの実践及び町内外への「歴史のまち国見」の啓蒙が図られる。						
次年度以降の見込み	事業の費用対効果を見極めながら、来年度以降も国見町の歴史を町内外に発信していくための事業を実施する。						

令和6年度「歴史公園維持管理・活用事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,257 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	4,257 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	3,257 千円	千円	千円	2,000 千円	333 千円	924 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	61.4 %	10.2 %	28.4 %
	特定財源の名称				●歴史を活かしたまち意識醸成事業債	●みらいを描く市町村等支援事業助成金(●頁)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		2	総務費	10	需用費	590 千円	事務消耗品100、水道光熱費390、修繕料100
				11	役務費	68 千円	手数料10、建物災害共済58
		項	項名称	12	委託料	2,599 千円	浄化槽管理委託99、施設管理委託2,000、中尊寺蓮PR事業500
		1	総務管理費			千円	
					千円		
目	目名称			千円			
10	歴史まちづくり推進費			千円			
事業の目的	あつかし千年公園の施設等について安定した維持管理等を行う。 また、公園等の周知・活用のため各種イベントを開催する。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> あつかし千年公園の施設等に係る維持管理経費（水道光熱費、維持管理委託等） あつかし千年公園活用事業（蓮まつり、蓮絵画コンクール） 						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 公園の安定した運営管理及び来場者への利便性の向上等が図られる。 公園および町内の歴史文化資源の周知啓発が図られるとともに、公園の活用が推進される。 						
次年度以降の見込み	継続実施。						

令和6年度「文化財保護事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	7,551 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円	
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	7,551 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	5,792 千円	千円	千円	千円	20 千円	5,772 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.3 %	99.7 %	
	特定財源の名称						-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	68 千円	文化財保護審議会	
				7	報償費	51 千円	指定文化財等管理	
		項	項名称	8	旅費	24 千円	委員費用弁償13、普通旅費11	
		5	社会教育費	10	需用費	244 千円	事務消耗品127、光熱水費51、修繕料66	
12				委託料	3,323 千円	町内史跡等管理委託（燻蒸208、草刈2,500、薬剤散布315、環境整備300）		
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	2,082 千円	史跡整備協議会負担金36、文化団体育成事業補助金146、文化財保存事業補助金1,900		
6	文化財保護費			千円				
				千円				
事業の目的	国見町の歴史・伝統ある文化財施設に係る価値や修景について保存を行うもの。							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財保護審議会の開催 ・町内史跡等の管理委託 ・指定文化財等の補助 							
事業の効果	文化財に係る保存事業を行うことで、国見町の魅力ある歴史資源について持続することができる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続							

令和6年度「阿津賀志山防塁史跡等総合活用事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,322 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	2,322 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,523 千円	1,260 千円	千円	千円	千円	1,263 千円
	構成比	100.0 %	49.9 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	50.1 %
	特定財源の名称		●歴史活き活き！史跡等総合活用(〇〇頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
10		教育費	7	報償費	73 千円	整備指導委員等報償	
			8	旅費	158 千円	整備指導委員等費用弁償98、文化庁指導60	
5		社会教育費	10	需用費	34 千円	消耗品27、燃料費7	
			12	委託料	2,200 千円	支障木伐採委託（二重堀始点地区）	
6		文化財保護費	13	使用料及び貸借料	58 千円	公用車借上49、コピー機借上9	
事業の目的	阿津賀志山防塁の史跡整備計画を進め、史跡整備・周辺整備を行う。					 <p>阿津賀志山防塁二重堀始点地区</p>	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 阿津賀志山防塁二重堀始点地区の支障木伐採業務 整備指導委員会の開催 						
事業の効果	二重堀始点地区の支障木伐採整備により、史跡空間の魅力向上を図る。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続						

令和6年度「町内遺跡発掘事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	1,982 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	1,982 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,516 千円	1,550 千円	千円	千円	千円	966 千円
	構成比	100.0 %	61.6 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	38.4 %
	特定財源の名称		●町内遺跡発掘事業(○○頁)				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	10	需用費	653 千円	消耗品29、燃料費21、印刷製本費522、光熱水費56、修繕料25
				12	委託料	1,609 千円	発掘調査作業308、測量業務1,301
		項	項名称	13	使用料及び賃借料	254 千円	調査機材（公用車・仮設トイレ）借上料227、コピー機借上料27
		5	社会教育費				
目		目名称					
6	文化財保護費						
事業の目的	遺跡範囲確認および内容確認のための調査事業と、出土遺物の整理事業を行い、町内遺跡の保存と活用を図り、開発と保護の調和に備えた情報を得る。						
事業の概要	開発に伴う遺構試掘調査 阿津賀志山防塁関連遺構（貝田地区石塁）調査						
事業の効果	遺跡の適切な保護に向けた把握						
次年度以降の見込み	次年度以降も各種開発対応、遺跡保護・整備のために事業を継続						

貝田地区石塁

令和6年度「国見町文化財センター（あつかし歴史館）維持管理事業」の概要

所管課名	企画調整課		所管係名	地域振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	9,080 千円	
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち（生涯学習）			補正額（12月補正まで）	140 千円	
	施 策 名	4	歴史まちづくりの推進			最終予算額	9,220 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源		
	金 額	10,821 千円	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	10,821 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %	
	特定財源の名称		-					
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	1	報酬	1,497 千円	会計年度任用職員報酬（3人）		
			2	給料	4,313 千円	会計年度任用職員給料（3人）		
			3	職員手当等	2,300 千円	会計年度任用職員期末勤勉手当等（3人）		
	項	項名称	4	共済費	582 千円	会計年度任用職員共済組合		
			7	報償費	541 千円	サポーター謝礼530、文化財センター委員報償11		
	5	社会教育費	8	旅費	106 千円	管理運営委員費用弁償28、会計年度任用職員通勤手当78		
			10	需用費	646 千円	事務消耗品76、燃料費54、光熱水費516		
	目	目名称	11	役務費	194 千円	電話料84、浄化槽検査料11、建物災害共済87、安全保険料12		
			12	委託料	179 千円	消防設備点検55、浄化槽管理委託124		
			13	使用料及び賃借料	463 千円	公用車借上392、コピー機借上71		
	事業の目的	国見町文化財センター「あつかし歴史館」の適切な管理と、地域住民と連携した運営により、国見町の歴史・文化の魅力と情報発信を図る。					 <p>あつかし歴史館「町民講座」</p>  <p>国見小学校フィールドワーク</p>	
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（法定点検・光熱水費） ・収蔵資料整理作業・常設・特設展示品の充実 ・あつかし歴史館サポーターによる案内 						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史文化遺産の収蔵・研究・情報発信を行うことで歴史館の魅力が向上し、来館者増加することで、国見町の理解が深まる。 ・地域の拠り所であった小学校跡地として、親しみのある開かれた施設として、維持管理される。 							
次年度以降の見込み	維持管理、運営事業の継続							

令和6年度「交通安全対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係							
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	1,705 千円				
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	1,678 千円				
	施 策 名	3	交通安全・防犯の推進			最終予算額	3,383 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	2,761 千円	国庫支出金	千円	県支出金	千円	地方債	千円	その他	千円	2,761 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %			
	特定財源の名称						-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
2		総務費	1	報酬	1,056 千円	交通教育専門員2名					
			7	報償費	79 千円	記念品（ランドセルカバー、交通安全大学修了式記念品、標語コンクール）					
1		総務管理費	8	旅費	87 千円	各種会議、研修会等					
			10	需用費	260 千円	啓発資材250千円、対外交流費10千円					
6		交通安全対策費	11	役務費	134 千円	新聞広告料33千円、看板作製手数料101千円					
			14	工事請負費	500 千円	カーブミラー設置等					
6		交通安全対策費	18	負担金補助及び交付金	630 千円	各種団体負担金270千円、補助金360千円（交協160千円、母の会160千円、シルバー40千円）					
	19		扶助費	15 千円	交通遺児激励金						
事業の目的	交通安全活動の推進により安全で住みよいまちづくりを目指す。					 <p>令和5年度ふくしま・みやぎ県境キャンペーン</p>					
事業の概要	①交通安全の啓発活動 ②関係団体等と連携し、交通安全の推進を図る。 ③カーブミラーの整備により危険個所の解消を図る。										
事業の効果	交通安全運動への協力、啓発活動等への参加、危険個所などの把握や情報共有など、町の交通安全の推進に寄与している。										
次年度以降の見込み	交通事故が、1件でも少なくなるよう継続的な取り組みが必要。										

令和6年度「防犯活動事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	8,315 千円	
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	3,582 千円	
	施 策 名	3	交通安全・防犯の推進			最終予算額	11,897 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	28,534 千円		千円	千円	18,000 千円	千円	10,534 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	63.1 %	0.0 %	36.9 %
	特定財源の名称				防犯灯LED化事業債		-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
2		総務費	8	旅費	3 千円	各種会議		
			10	需用費	6,005 千円	防犯灯電気料4,800千円、修繕費1,200千円		
1		総務管理費	12	委託料	1,140 千円	台帳管理システム1,140千円		
			14	工事請負費	21,200 千円	防犯灯設置及びLED化工事		
6		交通安全対策費	18	負担金補助及び交付金	186 千円	桑折地区防犯協会負担金156千円、防犯協会各支部補助金30千円		
					千円			
事業の目的	防犯活動の推進により、安全で住みよいまちづくりを目指す。							
事業の概要	①防犯灯の維持管理（設置・修繕等） ②安全施設（防犯灯・反射鏡・消防水利）台帳システムの保守管理 ③LED化工事（2カ年計画により、防犯灯や施設外灯のLED化を図る）							
事業の効果	台帳管理システムにより、防犯灯等の適正な管理が行われ、設置や修繕等の対応を迅速に行えており、防犯に寄与している。また、町内の蛍光灯による防犯灯や、施設の照明をLED灯に改修し、消費電力の少量化を図る。							
次年度以降の見込み	事件等を1件でも少なくなるよう、継続的な取り組みが必要。 7年度までの2カ年をかけ、防犯灯等のLED化を図る。							



令和6年度「町内会事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	12,721 千円
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進			最終予算額	12,721 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	12,629 千円	千円	千円	千円	千円	12,629 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	2	総務費	7	報償	12,084 千円	町内会長、班長報酬	
			8	旅費	87 千円	町内会長連絡協議会視察研修随行	
	項	項名称	10	需用費	8 千円	町内会連絡協議会飲物代	
	1	総務管理費	12	委託料	300 千円	町内会長研修委託	
			18	負担金補助及び交付金	150 千円	町内会連絡協議会運営補助、町内会掲示板等設置補助等	
	目	目名称			千円		
7	自治振興費			千円			
				千円			
事業の目的	町内会活動の推進により、協働のまちづくりを目指す。						
事業の概要	①行政事務の連携・円滑化 ②町内会長の相互理解 ③地域社会の形成						
事業の効果	行政と地域住民、地域と地域をつなぎ、良好な地域社会を形成し、まちづくりに寄与している。						
次年度以降の見込み	地域の実情に応じ、地域の課題を1件でも解決できるよう、継続的な取り組みが必要。						



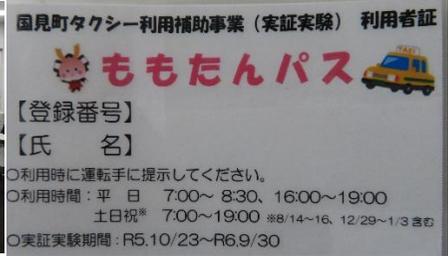
R5町内会長連絡協議会視察研修（宮城県栗原市「一般社団法人はなやまネットワーク」）

令和6年度「地区中央集会施設維持管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係			
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		当初予算額	36,693 千円	
	政 策 名	1	力をあわせてつくるまち		補正額（12月補正まで）	千円	
	施 策 名	1	協働のまちづくりの推進		最終予算額	36,693 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,548 千円	千円	千円	千円	千円	5,548 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	10	需用費	2,935 千円	消耗品費100千円、燃料費195千円、光熱水費2,145千円、修繕料600千円	
			11	役務費	166 千円	手数料30千円、火災保険料136千円	
1		総務管理費	12	委託料	2,014 千円	設備保守点検・施設清掃等2,014千円	
			13	使用料及び賃借料	433 千円	テレビ受信料46千円、清掃用具借上料43千円、AED借上料344千円	
					千円		
				千円			
7	自治振興費			千円			
事業の目的	地区住民の福祉と健康の増進の役割と災害時には指定避難所の役割を担う。						
事業の概要	①森江野町民センター（森江野町民会館）（S63）、②国見東部高齢者等活性化センター（H5）、③大木戸ふれあいセンター（H8）、④小坂農村総合管理センター（H16）の維持管理。						
事業の効果	地区中央集会施設を活用した地域活動の推進と災害時は避難所としての機能が図られる。						
次年度以降の見込み	計画的なメンテナンスを行い、適正な管理を継続する。						

令和6年度「地域公共交通支援事業」の概要

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	20,189 千円	
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	利用しやすい公共交通			最終予算額	20,189 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	19,045 千円		千円	2,750 千円	千円	2,100 千円	14,195 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	14.4 %	0.0 %	11.0 %	74.5 %
	特定財源の名称			市町村生活交通対策事業		デマンド型乗合タクシー事業負担金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		2	総務費	7	報償費	11 千円	地域公共交通あり方協議会	
				8	旅費	101 千円	費用弁償（地域公共交通会議、地域公共交通あり方協議会、福祉有償運送協議会）等	
		項	項名称	12	委託料	15,300 千円	まちなかタクシー運行委託	
		1	総務管理費	13	使用料及び賃借料	4 千円	貝田駅構内自転車置場	
18				負担金補助及び交付金	3,029 千円	各種負担金29千円、生活バス路線維持補助金3,000千円		
目		目名称	19	扶助費	600 千円	ももたんバス事業		
8	企画費			千円 千円				
事業の目的	利用しやすい地域公共交通体系の形成を目指し、交通弱者等の足を確保する。							
事業の概要	①地域公共交通あり方協議会等費用弁償等 ④ももたんバス事業 ②まちなかタクシー運行委託 ③生活バス路線維持補助金							
事業の効果	生活に密着した地域公共交通を維持することで、便利で快適なまちづくりに寄与している。				 			
次年度以降の見込み	社会や地域の変化にあわせ、見直しを進め、より良い公共交通が構築できるよう継続的な取り組みが必要。							

令和6年度「コンビニ交付事務」の概要

所管課名	住民防災課		所管係名	戸籍係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	5	相互理解と共感のあるまちづくり		前 年 度	当初予算額	1,913 千円	
	政 策 名	1	身近で信頼されるまち			補正額(12月補正まで)	千円	
	施 策 名	1	持続可能な行政運営			最終予算額	1,913 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,246 千円					252 千円	1,994 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	11.2 %	88.8 %
	特定財源の名称						●戸籍関連手数料	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
2		総務費	12	委託料	1,650 千円	コンビニ交付システム保守委託		
			13	使用料及び賃貸料	250 千円	コンビニ交付証明発行機能利用料、コンビニ委託業者手数料		
項		項名称	18	負担金補助金及び交付金	346 千円	コンビニ交付運営負担金		
3		戸籍住民基本台帳費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
1	戸籍住民基本台帳費			千円				
				千円				
事業の目的	コンビニ交付事業により、住民の利便性向上と窓口混雑の解消が図られる。							
事業の概要	マイナンバーカードを所有する住民が全国のコンビニエンスストア等のキオスク端末（マルチコピー機）を操作して各種証明書（住民票、印鑑証明書）の交付を受けるサービスを、自治体基盤クラウドシステムを利用して実施する。							
事業の効果	コンビニ交付事業により「いつでも、どこでも、すぐに」ワンストップで証明書等を受けとることができ、行政サービスをより一層効果的に提供できる。 (年中無休、利用時間 6:30~23:00)							
次年度以降の見込み	・システムを維持管理し、継続してコンビニ交付事務を行う。							



令和6年度「伊達地方衛生処理組合関係事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	98,039 千円	
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現			最終予算額	98,039 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	96,951 千円		0 千円	0 千円	千円	48 千円	96,903 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						一般廃棄物収集運搬搬許可手数料	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	12	委託料	30,000 千円	一般廃棄物・資源物収集運搬業務	
18				負担金補助及び交付金	66,951 千円	伊達地方衛生処理組合負担金		
2		清掃費			千円			
					千円			
					千円			
				千円				
2	塵芥処理費			千円				
				千円				
事業の目的	廃棄物を適正に処理し、生活環境を清潔にすることにより、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。							
事業の概要	①一般廃棄物収集運搬業務委託 ②伊達地方衛生処理組合への負担金支出							
事業の効果	①定期的に一般廃棄物等の収集運搬を行うことで、環境衛生が保全されている。 ②伊達地方衛生処理組合が適正に運営されている。							
次年度以降の見込み	①環境衛生を保全するため、継続した取り組みが必要。 ②伊達地方衛生処理組合を運営するため、継続した取り組みが必要。							



伊達地方衛生処理組合

令和6年度「ごみ減量化対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	生活交通係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	1,926 千円	
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現			最終予算額	1,926 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	2,064 千円	0 千円	0 千円	千円	92 千円	1,972 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	4.5 %	95.5 %	
	特定財源の名称					不燃物収集容器売却代	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	7	報償費	1,100 千円	資源ごみ回収団体奨励金	
10				需用費	158 千円	クリーンボックス購入		
2		清掃費	12	委託料	400 千円	資源ごみ収集運搬処分委託		
			13	使用料及び賃借料	80 千円	小型家電リサイクルセンサーリース料		
3		ごみ減量化対策費	17	備品購入費	200 千円	モニター用生ごみ処理機		
	18		負担金補助及び交付金	126 千円	ごみ置場改修等補助金			
事業の目的	資源ごみを回収し、町全体のごみの減量化やごみの再利用を促進し、循環型社会形成を目指すもの。							
事業の概要	①資源ごみ収集運搬処分委託 ④生ごみ処理モニター事業 ②資源ごみ回収団体奨励金 ③ごみ置場等の回収補助事務							
事業の効果	資源ごみを回収し、ごみの減量化やごみの再利用を促進し、循環型社会形成に寄与している。生ごみ処理機購入補助金制度の導入に向け、生ごみ処理機の効用、機器啓発、ごみ減量化意識を高めると共に、費用効果等を確認する。							
次年度以降の見込み	循環型社会を構築するため、継続した取り組みが必要。							



生ごみは約80%が水分です。水分をよく切ってから出しましょう。



令和6年度「伊達地方消防組合関係事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	200,854 千円		
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額（12月補正まで）	0 千円		
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実		最終予算額	200,854 千円		
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	198,760 千円		0 千円	0 千円	千円	0 千円	198,760 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
9		消防費	18	負担金補助及び交付金	198,760 千円	伊達地方消防組合負担金		
					千円			
項		項名称			千円			
1		消防費			千円			
					千円			
	目	目名称			千円			
	1	常備消防費			千円			
					千円			
事業の目的	伊達地方消防組合の運営を行うもの。							
事業の概要	伊達地方消防組合への負担金の拠出。							
事業の効果	伊達地方消防組合の適正な運営。							
次年度以降の見込み	伊達地方消防組合を維持運営するため、継続した取り組みが必要。							



令和6年度「消防団活動事業」の概要

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。	
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり			当初予算額	24,930 千円
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実			最終予算額	24,930 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	24,521 千円	0 千円	0 千円	千円	10 千円	24,511 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
特定財源の名称						@10千円（共済事務手数料）	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	9	消防費	1	報酬	10,979 千円	消防団員報酬	
			7	報償費	949 千円	機関団員、訓練指導員、優良分団、団員、退職団員、初午等	
	項	項名称	8	旅費	2,864 千円	費用弁償－火災・点検等2,650千円、普通旅費－会議16千円、特別旅費－研修等198千円	
	1	消防費	10	需用費	2,175 千円	消耗品費－制服等2,000千円、式典費－定期点検等175千円	
			11	役務費	36 千円	クリーニング代36千円	
	目	目名称	12	委託料	44 千円	定期点検送迎委託44千円	
	2	非常備消防費	13	使用料及び賃借料	840 千円	タクシー使用料48千円、消防団員アシストアプリ利用料792千円	
18			負担金補助及び交付金	6,634 千円	幹部研修負担金35千円、災害補償組合5,722千円、福祉共済798千円、消防学校入校47千円、消防学校校友会7千円、警察官友の会5千円、女性防火クラブ補助金20千円		
事業の目的	消防団員の確保や消防団活動に技術の習得を図り、国見町の消防力の維持を目指すもの。						
事業の概要	①消防団員の確保。 ②幹部、指導員、機関団員別の研修。 ③定期点検や初午による訓練成果の披露。						
事業の効果	消防団活動を活性化することで、消防団の活動への理解を深め、技術の習熟を図り、消防力の維持に寄与している。						
次年度以降の見込み	町の消防力を維持するため、継続した取り組みが必要。						

令和6年度「消防施設維持管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係			
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	4,925 千円	
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実		最終予算額	4,925 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	4,950 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	4,950 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
9		消防費	10	需用費	1,840 千円	消耗品費－施設消耗品12千円、燃料費264千円、 光熱水費－電気料504千円・水道料60千円、修繕料－消防車両等1,000千円	
項		項名称	11	役務費	1,195 千円	手数料－浄化槽法定点検83千円・消防車両車検整備610千円、自賠償保険80千円 火災保険料－屯所170千円、損害保険料－消防車両252千円	
1		消防費		12			委託料
目		目名称	13	使用料及び賃借料	5 千円	火の見櫓等土地使用料5千円	
3		消防施設費	14	工事請負費	1,100 千円	防火水槽等修繕	
	26		公課費	356 千円	自動車重量税356千円		
事業の目的	消防車両や屯所の修繕や維持を進め、消防力の維持を目指すもの。						
事業の概要	①消防車両・屯所の修繕。 ②消防車両の車検点検。 ③屯所の光熱水費・浄化槽点検等。						
事業の効果	消防車両及び消防屯所を適正に維持することで、消防力の維持に寄与している。						
次年度以降の見込み	町の消防力を維持するため、継続した取り組みが必要。						

令和6年度「消防施設整備事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	46,400 千円		
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額 (12月補正まで)	7,563 千円		
	施 策 名	2	消防・救急体制の充実		最終予算額	53,963 千円		
予 算 額	総事業費			特 定 財 源			一般財源	
	金 額	20,980 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	地方債	18,500 千円	
	特定財源の名称						その他	0 千円
							@11,100千円 (防火水槽設置事業債)	
							@5,200千円 (消火栓等設置事業債)	
							@2,200千円 (消防屯所改築事業債)	
							-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		9	消防費	12	委託料	2,700 千円	防火水槽設置工事測量設計1基500千円、消防屯所建築工事設計監理2,200千円	
14				工事請負費	17,290 千円	防火水槽設置1基10,000千円、消火栓設置4基5,200千円、火の見櫓撤去工事770千円、防火水槽撤去工事2基1,320千円		
項		項名称	17	備品購入費	990 千円	ホース・格納箱等990千円		
1		消防費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
3	消防施設費			千円				
				千円				
事業の目的	防火水槽や消火栓、屯所等の整備更新を進め、消防力の維持向上を目指すもの。							
事業の概要	消防水利の整備及び更新。 計画的に老朽屯所の改築を行う。							
事業の効果	防火水槽や消火栓を整備更新することで、消防力の維持向上に寄与している。							
次年度以降の見込み	町の消防力を維持向上するため、継続した取り組みが必要。							



令和6年度「災害対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

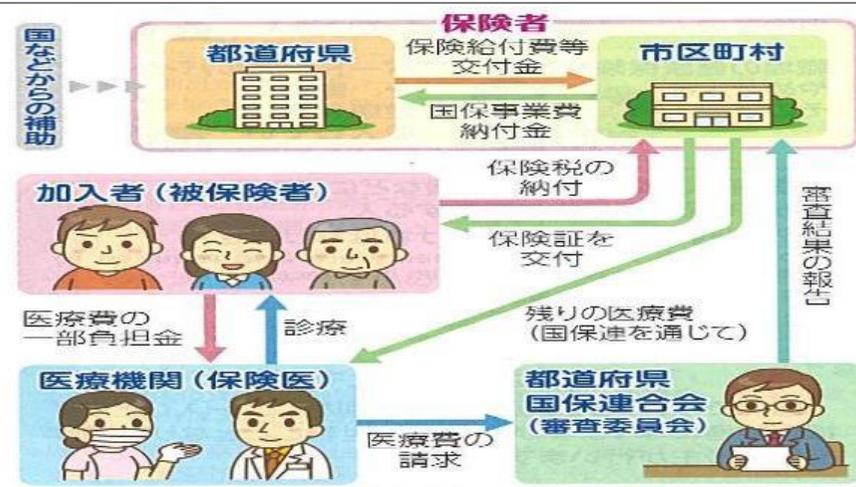
所管課名	住民防災課		所管係名	危機管理係								
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		当初予算額	98,358 千円						
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまちづくり		補正額（12月補正まで）	28,296 千円						
	施 策 名	1	防災と災害時対策の充実		最終予算額	126,654 千円						
予 算 額	総事業費			特 定 財 源			一般財源					
	金 額	15,245 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	0 千円	地方債	8,000 千円	その他	0 千円	7,245 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	52.5 %	0.0 %	47.5 %				
	特定財源の名称						県防総合情報通信ネットワーク更新事業負担金債（緊急防災減災事業債）			-		
	内 訳	款	款名称		節	節名称		予算額		明 細		
9		消防費		1	報酬		65 千円		防災会議等委員報酬			
				8	旅費		13 千円		各種会議			
1		消防費		10	需用費		1,951 千円		消防品－備蓄品等1,000千円、燃料費－発電機・公用車93千円、給食費－訓練炊出材料140千円、光熱水費－防災行政無線68千円、修繕料－県防災500千円、町防災100千円、公用車50千円			
				11	役務費		638 千円		通信運搬338千円、手数料260千円、火災保険料5千円、損害保険料35千円			
5		災害対策費		12	委託料		2,877 千円		防災行政無線点検2,277千円、個別受信機修繕600千円			
				13	使用料及び賃借料		440 千円		電波使用料44千円、県防災アプリ音声放送利用料396千円			
				18	負担金補助及び交付金		9,261 千円		防災ヘリ協議会401千円、県防総合ネットワーク保守550千円、県防総合ネットワーク機器更新8,000千円、自主防災会310千円			
事業の目的	災害発生時に備え、町や地域の防災訓練、食料や避難所用品の備蓄、防災行政無線等の通信手段の確保、非常時の計画策定などの対策を進め、防災力の維持向上を目指すもの。											
事業の概要	①防災訓練。 ②食料や避難所用品の備蓄。 ③防災行政無線等の通信手段の維持。											
事業の効果	各種防災対策を推進することで、防災力の維持向上に寄与している。											
次年度以降の見込み	町の防災力を維持向上させるため、継続した取り組みが必要。											



令和6年度「国保保険基盤安定負担金事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係							
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前年度	当初予算額	95,358 千円				
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち（保健）			補正額（12月補正まで）	(5,125) 千円				
	施 策 名	1	地域医療連携の推進			最終予算額	90,233 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	94,893 千円	国庫支出金	9,724 千円	県支出金	30,289 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	54,880 千円
	構成比	100.0 %	10.2 %	31.9 %	0.0 %	0.0 %	57.8 %				
	特定財源の名称		<ul style="list-style-type: none"> ・国保保険基盤安定負担金 ・国保未就学児均等割保険料軽減分負担金 		<ul style="list-style-type: none"> ・国保保険基盤安定負担金 ・国保未就学児均等割保険料軽減分負担金 ・国民健康保険産前産後保険料軽減分負担金 		-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
3		民生費	27	繰出金	94,893 千円	国保事務費等分（人件費等）、保険基盤安定化分、財政安定化支援事業分、					
					千円	出産育児一時金分、未就学児均等割軽減分、（新）産前産後均等割・所得割保険料					
項		項名称			千円						
1		社会福祉費			千円						
					千円						
目	目名称			千円							
1	社会福祉総務費			千円							
				千円							
事業の目的	国民健康保険の安定的な運営を図る。										
事業の概要	国民健康保険の運営にかかる職員人件費分、国保連合会負担金、運営協議会運営費、国県からの国保税軽減分・支援分、財政安定化支援分、出産育児一時金、未就学児保険料の軽減及び産前・産後保険料の軽減などにかかる補てん分等を国保特別会計に繰り出すもの。										
事業の効果	国民健康保険の安定的な運営が図られる。										
次年度以降の見込み	継続実施										



令和6年度「高齢者医療事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係								
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	163,505 千円					
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち（保健）			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	1	地域医療連携の推進			最終予算額	163,505 千円					
予 算 額			総事業費		特 定 財 源			一般財源				
	金 額	169,190 千円		国庫支出金	2,483 千円	県支出金	27,722 千円	地方債	千円	その他	9,800 千円	129,185 千円
	構成比	100.0 %		1.5 %	16.4 %	0.0 %	5.8 %	76.4 %				
	特定財源の名称			・長寿健康増進事業補助金 ・後期インセンティブ交付金	・後期保険基盤安定負担金		・一体的実施受託事業収入	-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	3	民生費	7	報償費	466 千円	(一体的実施) 講師等報償						
			8	旅費	236 千円	(一体的実施) 講師旅費						
	1	社会福祉費	10	需用費	292 千円	(一体的実施) パンフレット、教材費、栄養教室食材等						
			12	委託料	664 千円	(一体的実施) データ分析、脳ドック、健康教育						
	目	目名称	18	負担金	118,833 千円	後期広域連合への事務委託分及び医療費分負担金						
			27	繰出金	48,699 千円	後期特会への繰出金（事務費、保健事業費、保険基盤安定分）						
2	老人福祉費			千円								
					千円							
事業の目的	後期高齢者医療広域連合と町が役割分担をして後期高齢者医療制度の安定的な運営を行う。											
事業の概要	後期高齢者医療被保険者の被保険者証の交付、保険料の徴収、各種届出や申請の受付、健康診査、高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業などを行う。											
事業の効果	高齢者が安心して医療を受けることができ、健康を維持して生活できるようになる。											
次年度以降の見込み	継続実施											



令和6年度「子ども医療関係事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係								
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前年度	当初予算額	38,836 千円					
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	38,836 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	35,722 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	19,128 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	16,594 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	53.5 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	46.5 %			
	特定財源の名称			・乳児医療費助成事業 ・子ども医療費助成事業				-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		3	民生費	12	委託料	909 千円	子ども医療費取扱手数料					
				19	扶助費	30,459 千円	子ども医療費助成（社保・国保組合分）					
		2	児童福祉費	27	繰出金	4,354 千円	子ども医療費助成（国保分）繰出金					
							千円					
		目	目名称			千円						
1	児童福祉総務費			千円								
事業の目的	子どもの医療費の一部を助成することにより、その疾病又は負傷の治療を促進し、子育て家庭の負担の軽減と子どもの健やかな成長に寄与することを目的とする。											
事業の概要	<p>健康保険に加入している子ども（出生から満18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者で国見町に住所を有する者）の保護者等に、子どもの疾病または負傷について、医療機関等で支払った医療費の自己負担額を限度として助成する。</p> <p>県補助事業 就学前（0歳～6歳）自己負担額×50%（対象：前年所得622万円未満） 小学校4年生～高校3年生（9歳～18歳）自己負担額×100%</p> <p>町単独事業 就学前（0歳～6歳）自己負担額×50% 小学校1年生～3年生（6歳～8歳）自己負担額×100%</p>											
事業の効果	令和5年度実績見込 ※町支出分 総医療費106,931千円（乳幼児：41,484千円/子ども：65,447千円） 助成額20,110千円（乳幼児：1,885千円/子ども：18,225千円）											
次年度以降の	継続実施											



令和6年度「母子保健事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係							
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	21,070 千円			
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額 (12月補正まで)	251 千円			
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	21,321 千円			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	18,327 千円	国庫支出金	4,012 千円	県支出金	663 千円	地方債	1,200 千円	その他	千円	12,452 千円
	構成比	100.0 %		21.9 %		3.6 %		6.5 %		0.0 %	67.9 %
	特定財源の名称		●児童虐待防止対策等総合支援事業費 ●母子保健衛生費 ●養育医療給付費 ●出産・子育て交付金 ●子育て支援対策臨時特例交付金 ●地域の子ども・子育て支援事業交付金		●養育医療給付費 ●出産・子育て交付金 ●子育て支援対策臨時特例交付金 ●地域の子ども・子育て支援事業交付金		●新生児誕生祝い金事業債				-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	4	衛生費	2	給料	4,727 千円	会計年度任用職員（助産師・子ども家庭支援員）給料					
			3	職員手当等	1,870 千円	会計年度任用職員通勤手当125、期末手当961、勤勉手当784					
	項	項名称	4	共済費	475 千円	会計年度任用職員（助産師・子ども家庭支援員）共済組合					
	1	保健衛生費	7	報償費	1,148 千円	乳幼児健診報償969、謝礼179					
			8	旅費	80 千円	講師等費用弁償72、職員旅費8					
	目	目名称	10	需用費	110 千円	消耗品費（母子手帳、乳幼児健診関係）					
	1	保健衛生総務費	11	役務費	571 千円	乳幼児健診540、審査支払（妊婦・新生児）31					
			12	委託料	4,045 千円	乳幼児健康診査等130、妊婦健診3,575、産後ケア110、新生児聴覚検査230					
			17	備品購入費	152 千円	幼児用体重計					
18			負担金補助及び交付金	4,245 千円	すくすくももさば祝金（新生児誕生祝い金）1,200、出産・子育て祝金2,400、会計年度任用職員退職手当645（2.1.1.18）						
		19	扶助費	904 千円	妊婦健診149、養育医療350、新生児聴覚検査9、特定不妊治療費助成300、乳幼児健診96						
事業の目的	切れ目のない一貫した母子保健事業の実施により、健やかな子どもの成長を支援する。					2歳児相談会					
事業の概要	①母子健康手帳交付(妊娠届受付) ②妊婦健康診査(妊婦16回分+産後2回公費負担) ③乳幼児健診・相談等(乳児股関節健診、1ヶ月児健診、3・9ヶ月児健診、1歳6ヶ月児健診、2歳児相談会、3歳6ヶ月児健診、5歳児健診等) ④養育医療給付事業(未熟児の入院医療費公費助成) ⑤産後ケア事業(宿泊・日帰り・訪問) ⑥子ども家庭総合支援拠点事業 ⑦不妊治療助成事業 ⑧ピアサポート事業(ママカフェ・パパカフェ)										
事業の効果	①母子の一貫した健康管理。②健やかな妊娠・出産につながる。③乳幼児の心身の健康管理、育児支援。④未熟児（2,000g以下等）の健全な発育。⑤産婦・乳児への母乳育児支援、心身のケア。⑥子どもと家庭支援全般に係る相談支援・実情の把握等。⑦不妊治療を行う夫婦の経済的負担の軽減を図る。⑧同じような状況にある親子の孤立感の軽減。										
次年度以降の見込み	継続実施										

令和6年度「放射線対策健康管理事業」の概要

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり			前 年 度	当初予算額	1,739 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち				補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	2	健康づくりの推進				最終予算額	1,739 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	1,676 千円		1,500 千円	114 千円	千円	千円	62 千円
	構成比	100.0 %		89.5 %	6.8 %	0.0 %	0.0 %	3.7 %
	特定財源の名称		福島県再生加速化交付金	放射線健康対策事業				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	10	需用費	1 千円	消耗品費	
11				役務費	31 千円	郵便料（総務課配当）		
項		項名称	12	委託料	1,644 千円	ガラスバッジ84、健診付加検査（血液・貧血・腎機能）1,560		
1		保健衛生費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
1	保健衛生総務費			千円				
				千円				
事業の目的	健康づくりに関する各種事業の展開により、町民の健康増進を図る。							
事業の概要	①ガラスバッジによる外部被ばく検査 ②健診受診者への検査項目追加実施（血液検査）							
事業の効果	①放射線に関する各検査環境を整え、数値による現状の確認により健康不安の解消につなげる。 ①,②検査データを蓄積し、継続的健康管理、さらに健康維持、増進につなげる。							
次年度以降の見込み	継続実施							



令和6年度「食育推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	306 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	健康づくりの推進			最終予算額	306 千円	
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	183 千円		千円	千円	千円	千円	183 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	7	報償費	30 千円	謝礼	
10				需用費	153 千円	消耗品費28、賄材料費125		
項		項名称			千円			
1		保健衛生費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
1	保健衛生総務費			千円				
				千円				
事業の目的	町民の心身の健康の増進と豊かな人間形成、子どもの食育の推進、地域の特色ある食文化の継承を図るため食育事業を展開する。					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">親子料理教室</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block; margin-left: 20px;">くにみ幼稚園での食育教室</div>		
事業の概要	食に関する知識を身につけ、栄養バランスや生活習慣病を予防、また食文化への理解を深めるため食育教室や各種料理教室を開催する。					 		
事業の効果	様々な経験を通して「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができるようになる。							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和6年度「予防事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	1,989 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進			最終予算額	1,989 千円	
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	2,273 千円		千円	千円	千円	千円	2,273 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称							-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
4		衛生費	10	需用費	251 千円	消耗品費63、医薬材料費188		
			11	役務費	20 千円	フッ化物洗口事業薬剤保管料		
項		項名称	12	委託料	2,002 千円	結核胸部X線間接撮影		
1		保健衛生費			千円			
					千円			
目	目名称			千円				
2	予防費			千円				
				千円				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 結核の罹患率の高くなる65歳以上の者に対し結核健康診断を実施することで、結核を早期発見し集団感染を防止し、また患者の重症化を予防する。 う歯を予防するとともに、歯と口の健康を意識するきっかけづくりとする。 				  <div data-bbox="1720 1066 2074 1110" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">フッ化物洗口</div> 			
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 65歳以上の町民を対象に、例年6月に実施している「総合検診」において、胸部X線間接撮影を実施。 くにみ幼稚園の年中児・年長児及び国見小学校の児童の希望者を対象として、1週間に1回、集団でフッ化物洗口を行う。 							
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 結核健康診断やフッ化物洗口を定期的に行うことにより、結核の予防、う歯予防に繋がる。 							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和6年度「予防接種事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係								
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	24,213 千円					
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進			最終予算額	24,213 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	36,283 千円		国庫支出金	571 千円	県支出金	208 千円	地方債	千円	その他	千円	35,504 千円
	構成比	100.0 %		1.6 %	0.6 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	97.9 %			
	特定財源の名称			●感染症予防事業 ●新型コロナウイルス接種実施負担金 ●新型コロナウイルス接種体制確保事業補助金	●風しん対策助成事業 ●予防接種再接種費用助成事業					-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		4	衛生費	10	需用費	297 千円	消耗品費5、印刷製本費292					
				11	役務費	67 千円	R6.3月分国保連審査手数料15、郵便料（総務課配当）52					
		項	項名称	12	委託料	35,365 千円	各種予防接種委託料34,875、システム改修費490					
		1	保健衛生費	19	扶助費	554 千円	予防接種償還払分404、再接種助成事業150					
							千円					
目	目名称				千円							
2	予防費				千円							
事業の目的	予防接種の実施により、各種感染症の発生、重症化、まん延を防ぎ、町民の健康を保持する。											
事業の概要	<p>[定期予防接種] 乳幼児：BCG、四種混合、麻しん風しん、日本脳炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、水痘、B型肝炎、ロタウイルス 児童・生徒：二種混合、日本脳炎、子宮頸がんワクチン（女子） 65歳以上高齢者：新型コロナウイルス、インフルエンザ、高齢者肺炎球菌 成人男性（昭和37.4.2生～昭和54.4.1生に限る）：風しん抗体検査・予防接種 [任意予防接種] 小児（18歳以下）及び妊婦：インフルエンザ 成人：風しん抗体検査、麻しん風しん、帯状疱疹ワクチン</p>											
事業の効果	適正な予防接種の勧奨、実施により、町民の疾病予防につなげる。											
次年度以降の見込み	継続実施											



令和6年度「健康増進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	3,108 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	220 千円	
	施 策 名	2	健康づくりの推進			最終予算額	3,328 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	7,331 千円		千円	1,025 千円	千円	4,180 千円	2,126 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	14.0 %	0.0 %	57.0 %	29.0 %
	特定財源の名称			健康増進事業費		デジタル基盤改革支援補助金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	7	報償費	300 千円	謝礼	
				10	需用費	357 千円	消耗品費112、燃料費5、印刷製本費135、賄材料費105	
		項	項名称	12	委託料	6,048 千円	システム改修4,587、健康管理データバンクシステム保守645、健康運動教室816	
		1	保健衛生費	13	使用料及び賃借料	560 千円	健康管理データバンクシステム借上	
18				負担金補助及び交付金	66 千円	減塩パンフレット（ふくしま田園中枢都市圏ビジョン）		
目		目名称			千円			
2	予防費			千円				
				千円				
事業の目的	生活習慣病の予防・改善、糖尿病重症化予防を図るため、「運動習慣」と「食習慣」の両面から町民の健康増進に繋がる事業を展開する。							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室：健康運動指導士による指導、トレーニング及びデータ管理・集計・評価を実施。前期・後期コース（各24回）、短期集中コース（10回） ・減塩対策事業：減塩料理教室、塩分摂取量調査 ・健康フェスタの開催 							
事業の効果	生活習慣病の予防、疾病の重症化の予防							
次年度以降の見込み	継続実施							



令和6年度「集団検診事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	保健係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	21,187 千円	
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	3	継続的な保健事業の推進			最終予算額	21,187 千円	
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	21,026 千円		千円	千円	千円	1,632 千円	19,394 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	7.8 %	92.2 %
	特定財源の名称						国保特会繰入金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	衛生費	10	需用費	698 千円	消耗品費90、印刷製本費603、医療薬剤費 5	
				12	委託料	20,328 千円	電算処理業務328、健康診査等20,000	
		項	項名称			千円		
		1	保健衛生費			千円		
					千円			
目	目名称			千円				
2	予防費			千円				
				千円				
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> がん検診等各種検（健）診の集団検診・施設検診の実施体制の確保 効果的な受診勧奨の実施 							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 集団検診（肺がん検診・結核検診・肺がん喀痰検査・胃がん（バリウム）検診・大腸がん検診・前立腺がん検診・乳がん検診・子宮頸がん検診・肝炎検査・骨粗しょう症検査・健康診査） 施設検診（歯科健康診査・胃がん（内視鏡）検診・乳がん検診・子宮頸がん検診） 脳ドック（社保） 							
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病等の早期発見・早期治療及び疾病の重症化予防 がんの早期発見・早期治療によるがんによる死亡率の減少 							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和6年度「社会福祉事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	13,482 千円				
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち（福祉）			補正額（12月補正まで）	81,538 千円				
	施 策 名	4	地域で支える福祉の推進			最終予算額	95,020 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	13,310 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	134 千円	地方債	0 千円	その他	53 千円	13,123 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	1.0 %	0.0 %	0.4 %	98.6 %				
	特定財源の名称			●民生委員推薦会 ●人権啓発活動		●ふれあい福祉基金利子		-			
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	3	民生費	1	報酬	156 千円	民生委員推薦会					
			7	報償費	2,881 千円	協議会委員報償245千円、民生委員報償2,636千円					
	項	項名称	8	旅費	246 千円	協議会委員費用弁償235千円、会議・研修旅費等旅費11千円					
	1	社会福祉費	10	需用費	186 千円	消耗品11千円、人権の花運動及び啓発活動78千円、福祉避難所97千円					
			12	委託料	1,100 千円	民生委員視察研修委託100千円、要援護者避難支援プラン策定業務1,000千円					
	目	目名称	18	負担金補助及び交付金	8,658 千円	視察研修45千円、保護司会11千円、人権擁護委員協議会18千円、社会福祉協議会7,000千円、社会福祉協議会（事務局事業）1,200千円、婦人会384千円、					
1	社会福祉総務費	19	扶助費	29 千円	行旅病人等旅費27千円、食糧費2千円						
		24	積立金	54 千円	ふれあい福祉基金積立金						
事業の目的	地域福祉に関する基盤を整備することで、人々が安心して生活できるようになる。										
事業の概要	①各種団体に係る事業推進及び補助の実施 民生児童委員、保健と福祉の地域づくり推進協議会、人権擁護委員、保護司、町社会福祉協議会、婦人会 ②行旅病人等旅費支給										
事業の効果	人びとが安心して地域社会で生活できるようになる。										
次年度以降の見込み	継続実施										

令和6年度「町内若者交流会」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,450 千円				
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円				
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	2,450 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	2,369 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	900 千円		地方債	0 千円	その他	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	38.0 %	0.0 %	0.0 %	62.0 %				
	特定財源の名称						-				
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	3	民生費	7	報償費	40 千円	世話やき人謝礼40千円					
			18	負担金補助及び交付金	2,329 千円	福島圏域移住定住促進協議会負担金24千円、はぴ福なび会員登録補助30千円					
	項	項名称			千円	交流イベント参加費補助25千円、結婚新生活支援事業補助金2,250千円					
	1	社会福祉費			千円						
	目	目名称			千円						
1	社会福祉総務費			千円							
事業の目的	結婚世話やき人制度や、はぴ福なびを活用し、結婚したい独身男女の出会い・交流の機会を創出することにより町内外の若者の交流活性化を促す。また、経済的な理由で結婚に踏み出せない方の結婚生活費用を支援し、結婚を望む人が結婚できる環境を整える。										
事業の概要	①世話やき人制度：結婚に関する相談対応や無料相談会の実施により結婚したい男女の出会いをサポートする ②はぴ福なび会員登録料補助・移住定住協議会開催イベント補助：県が実施するはぴ福なびマッチングサイトへの登録料や交流イベント参加料を補助することにより、独身男女の出会いの機会を後押しする ③結婚新生活支援事業補助：低所得の新婚世帯に対し、住居費等の一部を補助する										
事業の効果	独身男女の出会い交流機会の提供や、結婚に踏み出せない方の経済的な支援を行うことで結婚を希望する人が結婚でき町への交流人口・定住人口の増加が図られる。										
次年度以降の見込み	R6年度の実績により事業内容を再検討する										



令和6年度「こさかふるさと館（小坂くらし館）事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	965 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	34 千円
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			最終予算額	999 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	1,017 千円	千円	千円	千円	千円	1,017 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	10	需用費	529 千円	消耗品費55、光熱水費424、修繕費50	
			11	役務費	136 千円	電話料40、浄化槽法定検査6、火災保険料90	
	項	項名称	12	委託料	352 千円	消防設備保守点検83、浄化槽管理61、自動ドア保守点検44、施設管理120、蜂の巣駆除44	
	1	社会福祉費			千円		
					千円		
	目	目名称			千円		
1	社会福祉総務費			千円			
				千円			
事業の目的	こさかふるさと館（旧小坂小学校）を活用し、高齢者の介護予防事業の拠点として、また、子供から高齢者まで多世代にわたり利用可能な交流施設として活用する。						
事業の概要	こさかふるさと館の維持管理に係る経費						
事業の効果	こさかふるさと館を拠点として、高齢者の介護予防教室等の会場、小坂地区の交流の場として活用されている。 令和3年度実績 月平均1.7日利用 利用者数220人（地震による浄化槽破損のため使用制限） 令和4年度実績 月平均6.3日利用 利用者数741人						
次年度以降の見込み	継続して維持管理を行う。						



令和6年度「老人福祉事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係							
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前年度	当初予算額	21,632 千円				
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額 (12月補正まで)	4,200 千円				
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			最終予算額	25,832 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源			一般財源					
	金 額	19,838 千円	国庫支出金	252 千円	県支出金	367 千円	地方債	9,000 千円	その他	1,209 千円	9,010 千円
	構成比	100.0 %	1.3 %	1.8 %	45.4 %	6.1 %	45.4 %				
	特定財源の名称		●高齢者にやさしい住まいづくり事業 (社総金)		●老人クラブ活動等社会活動促進事業 ●低所得者利用料軽減補助事業	●高齢者生きがいづくり事業債	●生きがいデイサービス利用者負担分	-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
	3	民生費	7	報償費	36 千円	講師謝礼					
			8	旅費	21 千円	費用弁償					
	1	社会福祉費	10	需用費	29 千円	消耗品					
			12	委託料	17,240 千円	生きがいデイ6,690(社協4,270、給食1,140、外出支援(送迎)1,280)、配食サービス2,800、緊急通報3,512、いきいきサロン3,950、除雪支援251、生活支援ショート37					
	18	負担金補助及び交付金	1,999 千円	老人クラブ1,135、JAふれあい協議会20、JAさくら会27、高齢者住まい720、低所得者法人利用負担軽減97							
19	扶助費	513 千円	日常生活用具給付113、高齢者運転免許返納(タクシー券)400								
事業の目的	在宅の高齢者に対し各種のサービスを提供することによって、高齢者の生きがいづくりや心身機能の維持向上等を図り、健康でいきいきと日常生活を営むことができるよう支援することを目的とする。										
事業の概要	高齢者の閉じこもり解消や生きがいづくり活動として「いきいきサロン交流事業」や「生きがい活動支援通所(デイサービス)事業」を行うほか、「高齢者配食サービス事業」、「緊急通報システム運営事業」等の高齢者の生活支援事業を行う。										
事業の効果	【いきいきサロン】 町内23か所で月1回開催 令和5年12月実績 月延べ参加者183人 協力者61人 【生きがいデイ】 令和5年12月末で49人が登録し、月3回のデイサービスを利用 令和5年12月実績 月延べ利用人数 136人 1日平均 7.2人										
次年度以降の見込み	継続実施										



令和6年度「敬老事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係			
総合計画上の 位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	5,000 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額(12月補正まで)	千円
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			最終予算額	5,000 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,750 千円	千円	千円	千円	千円	5,750 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	7	報償費	4,877 千円	敬老祝金2,420、敬老会町記念品2,457	
			10	需用費	274 千円	式典費(お茶)80、印刷製本(しおり)119、消耗品75	
	項	項名称	12	委託料	500 千円	アトラクション等	
	1	社会福祉費	13	使用料及び賃借料	99 千円	敬老会送迎バス(小坂・大木戸・石母田)	
						千円	
目	目名称				千円		
2	老人福祉費				千円		
					千円		
事業の目的	多年にわたって社会に貢献してきた高齢者を敬愛し、長寿を祝うとともに高齢者が健康を守り、生きる意欲を高め、健康で生きがいのある社会が築かれるよう敬老会を開催するとともに、敬老祝金を支給する。						
事業の概要	75歳以上の高齢者を対象に町内3か所で敬老会(式典及びアトラクション)を開催。小坂地区、石母田地区、大木戸地区は会場へのバス送迎をする。敬老祝金は90歳10,000円、99歳50,000円、100歳200,000円(施設入所者50,000円)支給。						
事業の効果	敬老会を通して、高齢者が地域の人から祝福され、新たな生きがいを見出し、生きる意欲につなげることができる。 令和5年度敬老会 対象者1,946人 出席者258人(出席率13.3%)						
次年度以降の見込み	敬老会…継続実施 敬老祝金…継続実施						



令和6年度「老人ホーム事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係			
総合計画上の 位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	16,752 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			最終予算額	16,752 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	12,283 千円	千円	千円	千円	2,520 千円	9,763 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	20.5 %	79.5 %
	特定財源の名称					●老人福祉施設入所者負担金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	8	旅費	2 千円	入所実態調査旅費
				18	負担金補助及び交付金	40 千円	養護老人ホーム入所判定会負担金
		項	項名称	19	扶助費	12,241 千円	老人福祉施設入所措置費
		1	社会福祉費			千円	
					千円		
目	目名称			千円			
2	老人福祉費			千円			
				千円			
事業の目的	高齢者の生活環境の向上と安心・安全の確保（家庭環境の調整、身体的・精神的健康の保持・向上）を目的とする。						
事業の概要	老人福祉法に基づく養護老人ホームの措置に関する事業						
事業の効果	入所者（令和5年12月末現在） 桑折緑風園2名、福島恵風園3名、国見の里1名						
次年度以降の見込み	継続実施						

令和6年度「障がい福祉事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	228,222 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち（福祉）			補正額（12月補正まで）	22,100 千円
	施 策 名	3	障がい者の自立支援			最終予算額	250,322 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	249,108 千円	108,877 千円	63,049 千円	千円	2,334 千円	74,848 千円
	構成比	100.0 %	43.7 %	25.3 %	0.0 %	0.9 %	30.0 %
	特定財源の名称		●更生医療 ●障害者自立支援 ●育成医療 ●地域生活支援	●障害者自立支援 ●重度心身障害者医療費 ●地域生活支援 ●軽度・中等度難病児補聴器	●重度医療高額分	-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	7	報償費	453 千円	障害者支援区分認定審査会委員報償252千円、講師報償（ゲートキーパー養成講座11千円、こころの健康づくり講座30千円、サポーター養成講座40千円、つながりカフェ120千円）	
			8	旅費	30 千円	障害支援区分認定審査会委員交通費4千円、講師交通費19千円、会議・調査旅費7千円	
	項	項名称	10	需用費	244 千円	消耗品費97千円、座談会54千円、窓あき封筒82千円、座談会賄料費11千円	
	1	社会福祉費	11	役務費	753 千円	回線使用料16千円、主治医意見書作成料110千円、国保連事務手数料221千円、成年後見制度利用支援事業406千円	
			12	委託料	3,193 千円	相談支援事業1,052千円、重度心身障がい者医療費事務委託355千円ほか	
	目	目名称	18	負担金補助及び交付金	199 千円	県心身障害者スポーツ協会6千円、申請書等印刷費負担25千円、手をつなぐ親の会33千円、町心身障害者福祉会75千円、自発的活動支援事業60千円	
	3	障がい者福祉費	19	扶助費	244,235 千円	重度心身障がい者医療費25,800千円、介護給付費92,785千円、訓練給付費108,624千円、地域生活支援事業7,411千円ほか	
22			償還金利子及び割引料	1 千円	前年度重度障がい者支援事業補助精算による償還金		
事業の目的	障がいのある方が、安心して自立した生活を送ることができるよう、各種障がい福祉サービスの提供や助成を行う。						
事業の概要	障害者総合支援法に基づく福祉サービスの提供、医療費等の給付 （重度心身障がい者医療費、人工透析患者通院費、在宅重度障がい者対策事業、更生医療給付費、補装具給付費、福祉タクシー助成事業、介護給付費、訓練給付費、地域生活支援事業、障がい者通所交通費助成事業、在宅酸素濃縮器利用助成事業、計画相談支援給付費、育成医療給付費、軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成事業） 手帳所持者（身体 312人、精神 67人、療育 83人）※R6.1.26現在						
事業の効果	障がい者の日常生活を支援することで、地域社会において安心して生活を送ることができるようになる。						
次年度以降の見込み	継続実施						



令和6年度「高齢者福祉施設（デイサービスセンター）事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

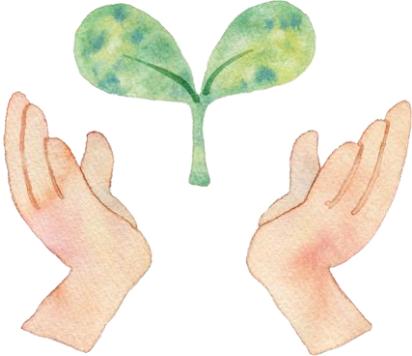
所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	8,501 千円	
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	3,926 千円	
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進			最終予算額	12,427 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	12,133 千円		千円	千円	千円	11,633 千円	500 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	95.9 %	4.1 %
	特定財源の名称						●デイサービスセンター 事業収入	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	3	民生費	10	需用費	10,448 千円	燃料費1,920、光熱水費8,028、修繕費500		
			11	役務費	140 千円	手数料109、建物災害共済保険料31		
	1	社会福祉費	12	委託料	1,545 千円	危険物(地下灯油タンク)保守点検76、消防設備点検55、空調設備保守点検1,169、 自家用電気工作物保守点検81、夜間警備75、鼠族・衛生害虫防除管理51、除草38		
						千円		
	目	目名称			千円			
1	社会福祉総務費			千円				
				千円				
事業の目的	通所介護事業を行う国見町デイサービスセンターの維持管理に関する事業。 燃料費、光熱水費、建物火災共済、各種保守管理委託等について予算措置するもの。							
事業の概要	国見町デイサービスセンターの維持管理を指定管理者である国見町社会福祉協議会が行っている。同施設の維持管理費を町が一旦負担し、年度末に国見町社会福祉協議会の事業収入から戻し入れする（10万円以上の経年劣化に伴う施設修繕については町負担）。							
事業の効果	令和5年12月の利用者数(延べ人数) 500人（一般型302人、認知症型114人、総合事業型84人）、1日当たり利用者数は20.8人							
次年度以降の見込み	継続実施。 ・指定管理者 社会福祉法人国見町社会福祉協議会 ・指定期間 令和4年4月1日～令和9年3月31日							



令和6年度「児童福祉事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	104,239 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち（子育て）			補正額（12月補正まで）	45,103 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	149,342 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	128,768 千円		77,764 千円	25,355 千円	千円	千円	25,649 千円
	構成比	100.0 %		60.4 %	19.7 %	0.0 %	0.0 %	19.9 %
	特定財源の名称			●児童手当交付金 ●障害児施設措置 ●特別児童扶養手当 ●子育て世帯訪問支援事業	●児童手当負担金 ●障害児施設措置 ●ひとり親家庭医療費 ●子育て世帯訪問支援事業			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	10	需用費	53 千円	窓あき封筒印刷費	
11				役務費	75 千円	国保連事務手数料		
項		項名称	12	委託料	584 千円	子育て世帯訪問支援事業		
2		児童福祉費	19	扶助費	128,056 千円	就学遺児激励金210千円、ひとり親家庭医療費助成1,560千円、児童手当76,050千円		
					千円	障害児通所給付費48,000千円、障害児計画相談支援給付費2,236千円		
目	目名称			千円				
1	児童福祉総務費			千円				
事業の目的	各種児童福祉サービスの提供、手当の支給、医療費助成等を行うことにより、子どもが安心して健全な生活を送ることができるよう支援する。							
事業の概要	①就学遺児激励金 ひとり親家庭の児童に対し、図書カード3,000円を支給 ②ひとり親家庭医療費助成 ひとり親家庭に対し、月1,000円を超えた医療費を助成 ③児童手当 15歳までの児童を養育する保護者へ、所得に応じ手当を支給 ④障害児通所給付費及び計画相談 療育を必要とする保護者へ、所得に応じ手当を支給 ⑤子育て世帯訪問支援事業 家事育児等に不安を持つ子育て世帯・妊産婦・ヤングケアラー等の家庭に支援員が訪問し、家事育児等の支援を行う							
事業の効果	子どもの日常生活や家庭を支援することで、地域社会において安心した生活を送ることができるようになる。							
次年度以降の見込み	継続実施							

令和6年度「災害援助事業」の概要

所管課名	福祉課		所管係名	社会福祉係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	10,574 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	4	地域で支える福祉の推進			最終予算額	10,574 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	10,474 千円	千円	千円	千円	10,233 千円	241 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	97.7 %	2.3 %
	特定財源の名称					東日本大震災災害援護 資金貸付金償還金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	19	扶助費	240 千円	罹災救助給付金
				22	償還金利子及び割引料	10,234 千円	東日本大震災災害援護資金貸付金償還金
		項	項名称			千円	
		3	災害援助費			千円	
					千円		
目	目名称			千円			
1	災害援助費			千円			
				千円			
事業の目的	災害時、被災者に対し早期の生活再建を目的として、見舞金の支給及び災害援護貸付金の事業を実施するもの						
事業の概要	①罹災救助給付金 被災者に対し、基準に基づき見舞金を支給する ②災害援護資金貸付金償還金 東日本大震災時の災害援護貸付金の償還を借受人より受け、また、県へ返還する。						
事業の効果	被災者の早期生活再建に有効である						
次年度以降の見込み	継続実施						

令和6年度「経営所得安定対策等推進事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,039 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	4,039 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	3,944 千円	0 千円	3,230 千円	0 千円	0 千円	714 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	81.9 %	0.0 %	0.0 %	18.1 %
	特定財源の名称		●経営所得安定対策等推進事業				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	10	需用費	24 千円	賄材料費（米消費拡大）	
			11	役務費	110 千円	米食味計校正料	
項		項名称	18	負担金補助及び交付金	3,810 千円	経営所得安定対策推進補助（国見町地域農業再生協議会へ支出）	
1		農業費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
3	農業振興費			千円			
				千円			
事業の目的	●農家の経営安定に資するべく米の需要に応じた生産に取り組むよう経営所得安定対策への加入推進等の取り組みを行う。						
事業の概要	①経営所得安定対策等の運営に必要なシステム運用、作付面積の確認 ②食味計の校正費用 ③米の消費拡大に向けた現物給付						
事業の効果	●令和5年度経営所得安定対策加入状況 114件						
次年度以降の見込み	●継続						



令和6年度「農業経営基盤強化促進事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	67,911 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	67,911 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	35,621 千円		0 千円	8,700 千円	0 千円	20,965 千円	5,956 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	24.4 %	0.0 %	58.9 %	16.7 %
	特定財源の名称			●新規就農者育成総合対策事業		●特別交付税		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	7	報償費	720 千円	地域おこし協力隊指導農家謝礼	
				12	委託料	20,245 千円	地域おこし協力隊（4人）19,200 募集業務1,045	
		1	農業費	18	負担金補助及び交付金	456 千円	くにも農業ビジネス訓練所長期研修生家賃補助金（1人）	
				18	負担金補助及び交付金	500 千円	地域を支える新たな農業者等確保支援補助金（就農相談、担い手育成）	
18				負担金補助及び交付金	8,700 千円	新規就農者育成総合対策補助金（年間150万円×5人、120万円×1人）		
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	100 千円	認定農業者支援補助金（認定農業者会）		
3	農業振興費	20	貸付金	4,900 千円	経営開始資金（150万円×1人、100万円×2人、70万円×2人）			
					千円			
事業の目的	●「新規就農者」及び「認定農業者」の確保・育成を図る。							
事業の概要	①新規就農希望者の確保（訓練所⇒野菜、地域おこし協力隊⇒果樹） ②青年等就農計画作成に向けた支援 ③認定新規就農後の支援 ④認定農業者の確保							
事業の効果	●町の継続的な支援により、新規就農者の定着と担い手の確保が図られる。							
次年度以降の見込み	●継続							



令和6年度「農業振興事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の 位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	47,525 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額(12月補正まで)	10,618 千円
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	58,143 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	28,222 千円	0 千円	19,362 千円	0 千円	7,000 千円	1,860 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	68.6 %	0.0 %	24.8 %	6.6 %
	特定財源の名称				●遊休農地500 ●産地生産力700 ●営農再開18,162	●ふるさと振興基金繰入	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	6	農林水産業費	18	負担金補助及び交付金	30 千円	生活教室開設補助金 (JAふくしま未来)	
			18	負担金補助及び交付金	1,000 千円	収入保険支援補助金 (収入保険料の一部補助)	
			18	負担金補助及び交付金	3,000 千円	果樹産地育成対策補助金 (もも穿孔細菌病防除費の一部補助)	
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	500 千円	耕作放棄地再生支援補助金 (遊休農地解消50a)	
	1	農業費	18	負担金補助及び交付金	700 千円	産地生産力強化総合支援補助金 (大豆ロータリー×1台)	
			18	負担金補助及び交付金	18,162 千円	福島県営農再開支援補助金 (果樹改植6ha)	
			18	負担金補助及び交付金	3,000 千円	農業機械導入支援補助金 (補助率1/10、上限500千円)	
	目	目名称	18	負担金補助及び交付金	100 千円	青色申告支援補助金 (4人)	
	3	農業振興費	18	負担金補助及び交付金	30 千円	伊達果実研究会支援補助金 (団体育成補助)	
			18	負担金補助及び交付金	200 千円	農業法人設立支援補助金 (法人設立時に発生する税負担の一部補助)	
			18	負担金補助及び交付金	1,000 千円	【新規】減農薬栽培技術対策補助金 (性フェロモン剤による減農薬、環境配慮)	
			18	負担金補助及び交付金	500 千円	【新規】免許取得支援補助金 (大特・けん引免許取得)	
事業の目的	●国見町の基幹産業である農業の振興を図る。						
事業の概要	●農業振興に向け、財源を確保しつつ、さまざまな支援策を実施						
事業の効果	●適格な支援制度を行うことで、持続可能な営農に向けた環境整備が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続						

令和6年度「有害鳥獣対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を生かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	12,179 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	12,179 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	19,531 千円	0 千円	6,000 千円	0 千円	10,984 千円	2,547 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	30.7 %	0.0 %	56.2 %	13.0 %
	特定財源の名称				●野生鳥獣被害防止地域づくり事業	●特別交付税10,984 ●農協負担金200 ●実施隊動員費600	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	6	農林水産業費	1	報酬	2,186 千円	鳥獣被害対策実施隊（非常勤職員）報酬	
			8	旅費	13 千円	普通旅費	
	1	農業費	10	需用費	730 千円	追払い花火・銃弾代・捕獲エサ代等680、箱わな修繕料50	
			11	役務費	938 千円	檻監視カメラ・ほかパト通信料114、止め刺し処分・捕獲わな免許登録手数料824	
			12	委託料	560 千円	捕獲射撃訓練100、有害鳥獣腐乱処理50、【新規】サル用囲い罠移設410	
			17	備品購入費	605 千円	【新規】獣害侵入防止装置	
	3	農業振興費	18	負担金補助及び交付金	309 千円	負担金（非常勤公務災害補償7、南奥羽協議会負担金302）	
18			負担金補助及び交付金	14,190 千円	補助金（電気柵1,000、免許取得8、再生協7,182、【新規】地域づくり6,000）		
事業の目的	●野生鳥獣による被害防止対策の充実・強化を図るとともに、関係機関と連携した総合的な被害防止体系を確立し、農作物被害の軽減等を図る。						 
事業の概要	①鳥獣被害対策実施隊経費（報酬・止め刺し手数料） ②花火・銃弾購入 ③電気柵設置補助 ④アドバイザー委託 ⑤侵入防止柵維持管理補助 ⑥侵入防止柵修繕資材配付 ⑦被害防止に向けた地域づくり支援補助						
事業の効果	●被害防止対策の事業展開により、農作物被害の軽減が図られる。 ●野生鳥獣被害を防止し、農業者の営農意欲衰退を防止する。						
次年度以降の見込み	●継続（国見町鳥獣被害対策実施隊の活動と合わせ、地域ぐるみで鳥獣被害防止対策を推進）						

令和6年度「町産農産物PR事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,515 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額 (12月補正まで)	0 千円
	施 策 名	3	ブランド開発と販路拡大			最終予算額	4,515 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	5,187 千円	2,594 千円	0 千円	0 千円	2,593 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	50.0 %	0.0 %	0.0 %	50.0 %	0.0 %
	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金 (地域魅力向上)		●震災復興特別交付税		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	6	農林水産業費	7	報償費	128 千円	ミスピーチキャンペーンクルー等への謝礼	
			8	旅費	1,179 千円	特別旅費	
	項	項名称	10	需用費	336 千円	消耗品、燃料費、印刷製本費、賄材料費	
	1	農業費	11	役務費	640 千円	宅配料、広告料、傷害保険	
			12	委託料	2,726 千円	くにみ物産展業務	
	目	目名称	13	使用料及び賃借料	178 千円	レンタカー、高速料金、駐車料金	
3	農業振興費			千円			
				千円			
事業の目的	●町農産物を県外で積極的にPRし、風評被害の払拭と販売力の強化を促進する。						
事業の概要	①交流町などでPR販売（北海道ニセコ町、岩手県平泉町、栃木県茂木町、岐阜県池田町、宮城県石巻市） ②首都圏でPR販売（歌舞伎座木挽町広場で「くにみ物産展」）						
事業の効果	●町農産物の安全安心を対面販売でPRすることにより、品質の高さ、美味しさが広く知れ渡り、販路拡大が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続						



令和6年度「くにみ農業ビジネス訓練所事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	19,576 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額 (12月補正まで)	0 千円
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	19,576 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	26,144 千円	0 千円	750 千円	0 千円	13,991 千円	11,403 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	2.9 %	0.0 %	53.5 %	43.6 %
	特定財源の名称		●サポート体制構築事業		●農産物販売5,000 ●ふるさと基金8,991		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	6	農林水産業費	2,3,4	給料、職員手当等、共済費	11,403 千円	会計年度任用職員3名 (給料7,446、期末手当等3,193、共済764)	
			7	報償費	180 千円	短期研修講師謝礼	
	1	農業費	8	旅費	105 千円	短期研修講師交通費99、普通旅費6	
			10	需用費	5,749 千円	消耗品費2,831、燃料費1,457、光熱水費1,311、修繕料150	
	4	農業ビジネス 訓練所費	11	役務費	481 千円	電話料128、各種検査218、建物共済80、自動車共済55	
			12	委託料	7,649 千円	浄化槽管理61、施設警備342、農作業業務7,146、販売管理100	
	4	農業ビジネス 訓練所費	13	使用料及び賃借料	377 千円	テレビ受信料15、電子図書館349、コピー機借上料13	
14			工事請負費	200 千円	農場内整備		
事業の目的	●新規就農促進、担い手育成、農業技術の向上、町の風土に合った野菜の少量多品目栽培体系の確立、野菜のブランド化を図る。					 	
事業の概要	①年間を通じて「長期研修」「短期研修」「体験研修」を実施 ②農場で野菜の多品目栽培、養液栽培用鉄骨ハウスでミニトマトを栽培						
事業の効果	●令和5年度は、長期研修生3名を受け入れ、うち1名が国見町で新規就農を予定しているなど、くにみ農業ビジネス訓練所を核とした移住定住者の増加が図られている。また、短期研修についても農業者の知識習得の場になっている。						
次年度以降の見込み	●継続 (野菜だけでなく、果樹でも地域おこし協力隊制度を活用し、国見町への移住定住による新規就農者を確保)						

令和6年度「畜産振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を生かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	186 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	2	担い手の育成と経営支援			最終予算額	186 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一 般 財 源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	186 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	186 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	10	需用費	150 千円	消耗品費（消石灰配付）	
			18	負担金補助及び交付金	22 千円	県畜産振興協会負担金	
項		項名称	18	負担金補助及び交付金	14 千円	県北家畜衛生推進協議会負担金	
						千円	
1		農業費				千円	
					千円		
目	目名称				千円		
					千円		
5	畜産業費				千円		
					千円		
事業の目的	●鳥インフルエンザ、豚熱など家畜伝染病予防のための事前対策を行うとともに、畜産関係団体と連携し、畜産振興を図る。						
事業の概要	①家畜伝染病予防のための資材配付 ②畜産関係団体への負担金						
事業の効果	●家畜伝染病の予防体制が強化される。						
次年度以降の見込み	●継続						



令和6年度「大枝湛水防除施設事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	11,926 千円	
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	11,926 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	4,523 千円	0 千円	0 千円	0 千円	1,871 千円	2,652 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	41.4 %	58.6 %	
	特定財源の名称						●土地改良受託金（伊達市分担金）	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		6	農林水産業費	10	需用費	2,498 千円	消耗品費27、燃料費311、光熱水費660、修繕費1,500	
				11	役務費	205 千円	電話料42、点検検査手数料92、建物共済71	
		1	農業費	12	委託料	66 千円	消防設備保守	
				12	委託料	39 千円	浄化槽設備保守	
6		農地費	12	委託料	118 千円	自家用工作物保守		
			12	委託料	797 千円	環境整備（除草、土砂上げ）		
				800 千円	運転管理（定期保守、緊急時運転）			
事業の目的	●排水機場の運営により湛水被害を防除し、安定した農業生産に資する。							
事業の概要	●大枝排水機場の施設運営及び維持管理							
事業の効果	●災害による浸水被害が軽減される。							
次年度以降の見込み	●継続（令和8年度から県営事業により大規模改修工事が実施される予定）							

令和6年度「多面的機能支払交付金事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を生かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	20,356 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	20,356 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	20,085 千円	0 千円	15,138 千円	0 千円	0 千円	4,947 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	75.4 %	0.0 %	0.0 %	24.6 %
	特定財源の名称		●多面的交付金14,838 ●多面的推進交付金300				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	8	旅費	3 千円	普通旅費	
			10	需用費	163 千円	消耗品費	
項		項名称	18	負担金補助及び交付金	19,785 千円	多面的機能支払交付金事業補助金（広域組織/国見町環境保全会450.4ha）	
1		農業費	12	役務費	34 千円	郵便料 ※2-1-2総務課配当	
			13	使用料及び賃借料	100 千円	コピー機借上料 ※2-1-2総務課配当	
目		目名称			千円		
6	農地費			千円			
				千円			
事業の目的	●農地の多面的機能を維持するための共同活動を支援する。						
事業の概要	①多面的機能を維持し、耕作放棄地の発生を防止 ②担い手農家だけでなく、非農家も含めた農地の維持管理体制の構築						
事業の効果	●担い手農家のみならず、非農家も含めた地域全体での維持管理体制が構築されることで、耕作放棄地の発生防止が図られる。						
次年度以降の見込み	●継続（未組織エリアの加入推進）						



令和6年度「中山間地域等直接支払事業」の概要

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	15,046 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	791 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	15,837 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	15,837 千円	0 千円	11,903 千円	0 千円	0 千円	3,934 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	75.2 %	0.0 %	0.0 %	24.8 %
	特定財源の名称		●中山間事業費11,798 ●中山間事務費105				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	8	旅費	3 千円	普通旅費	
			18	負担金補助及び交付金	15,732 千円	中山間地域直接支払事業補助金（8集落）	
1		農業費		項名称	千円	⇒内谷山越、内谷清上、内谷桐目木、鳥取沼田、貝田・山根、小坂、石母田、高城	
			11	役務費	45 千円	郵便料 ※2-1-2総務課配当	
6		農地費	13	使用料及び賃借料	57 千円	コピー機借上料 ※2-1-2総務課配当	
			目名称	千円			
					千円		
事業の目的	●耕作放棄地の増加により、水田などの多面的機能が低下することが懸念される中山間地域等において、農業生産の維持を図りつつ、多面的機能を維持する観点から、直接支払いを実施する。						
事業の概要	●急・緩傾斜の農地を有する地域、さらに高齢化率・耕作放棄率の高い地域における農業生産活動を支援するため、協定を締結した集落に対して補助金を交付						
事業の効果	●耕作放棄地の発生防止とともに農地の多面的機能が確保される。						
次年度以降の見込み	●継続						



令和6年度「林業振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	農林振興係							
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた自然を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	65,902 千円				
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円				
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	65,902 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	45,280 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	33,004 千円	地方債	0 千円	その他	11,414 千円	862 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	72.9 %	0.0 %	25.2 %	1.9 %				
	特定財源の名称				●ふくしま再生31,760 ●森林環境交付金1,244		●震災特交11,340 ●森林環境 税利子1 ●入山財産区繰入73		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
6		農林水産業費	7	報償費	20 千円	森林委員会委員長報償					
			8	旅費	64 千円	森林委員会委員費用弁償56、普通旅費8					
2		林業費	10	需用費	100 千円	消耗品費					
			12	委託料	44,550 千円	桜の森下刈550、誕生祝品贈呈650、DIY教室250、森林再生事業43,100					
2		林業振興費	13	使用料及び賃借料	171 千円	用地借地料39、システム使用料132					
			15	原材料費	132 千円	誕生祝品材料費					
2		林業振興費	18	負担金補助及び交付金	222 千円	各負担金22、町緑化推進委員会補助金200					
	24		積立金	1 千円	森林環境譲与税基金利子						
	27		繰出金	20 千円	大木戸財産区特別会計繰出金						
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ●森林整備により森林が持つ多面的機能を維持・増進させる。 ●木育事業を推進し、地域材で製作した誕生祝品の贈呈のほか各種事業を実施する。 				 						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ①ふくしま森林再生交付金事業（森林整備38.0㍊、路網整備1,500m他） ②木育事業（誕生祝品贈呈、DIY教室開催） ③財産区事業（大木戸、入山、石母田） 										
事業の効果	●健全な森林の育成が図られる。										
次年度以降の見込み	●継続										

令和6年度「労働諸費事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係			
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	6,521 千円
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	高齢者の日常生活支援			最終予算額	6,521 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	6,721 千円	0 千円	0 千円	0 千円	3,000 千円	3,721 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	44.6 %	55.4 %
	特定財源の名称					●貸付金元利収入（預託金回収金）	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
5		労働費	18	負担金補助及び交付金	21 千円	負担金（県シルバー人材センター連合会）	
			18	負担金補助及び交付金	3,700 千円	補助金（町シルバー人材センター）	
項		項名称	20	貸付金	3,000 千円	東北ろうきん自治体提携融資預託金	
1		労働諸費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
1	労働諸費			千円			
				千円			
事業の目的	●町内に住む若者から高齢者までが、町内で安全安心に生きがいをもって働くために、国（職業安定所）や県、シルバー人材センター等と連携し、支援に取り組む。						
事業の概要	①町シルバー人材センターの運営に対する補助 ②町内在住、在勤の勤労者向けの教育・介護資金の融資 ③ハローワークと連携（求職・就労相談等）						
事業の効果	●町内に住む若者から高齢者まで、町内で安全安心に働くことができる。						
次年度以降の見込み	●継続						

【町シルバー人材センター奉仕作業】

令和6年度「商工振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	18,828 千円
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			補正額（12月補正まで）	35,923 千円
	施 策 名	1,2	商業の活性化、新産業創出と起業家支援			最終予算額	54,751 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	18,433 千円	750 千円	0 千円	0 千円	10,000 千円	7,683 千円
	構成比	100.0 %	4.1 %	0.0 %	0.0 %	54.3 %	41.7 %
	特定財源の名称		●小規模事業者支援推進事業		●貸付金元利収入（預託金回収金）		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		7	商工費	1	報酬	33 千円	国見町工場等設置審議会委員会
				8	旅費	6 千円	普通旅費
		1	商工費	10	需用費	95 千円	消耗品費
				18	負担金補助及び交付金	75 千円	負担金（県貿易促進協議会15、県信用保証協会1、県企業誘致推進協議会59）
目		目名称	18	負担金補助及び交付金	8,224 千円	補助金（中小企業利子1,137、商工会4,500、街路灯維持336、商工共済利子1、県ニッソ産地振興50、特産品開発200、資格取得1,500、創業利子500）	
			20	貸付金	10,000 千円	中小企業経営合理化資金融資預託金	
1	商工総務費						
2	商工振興費						
事業の目的	●町経済の原動力である中小企業・小規模企業及び町内で創業したい方が、町内で安全安心に経営できるよう国や県、商工会、金融機関、その他関係支援機関と連携して、企業に寄り添う伴走型支援の一体的な取り組みと、第6次総合計画に基づく町の産業振興施策を着実に実行する。						
事業の概要	①中小企業・小規模企業振興条例に基づく伴走支援の構築（企業訪問、情報連絡会） ②支援策の実施（新型コロナ中小企業利子補給、創業者利子補給、特産品開発補助、資格取得補助など）						
事業の効果	●町内の中小企業・小規模企業の創業準備期から創業～成長～成熟～衰退～承継期まで切れ目ない支援を一体的に取り組み、中小企業・小規模企業が安全安心に経営できる。						
次年度以降の見込み	●継続						

令和6年度「観光振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係			
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	2,440 千円
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	3	道の駅利活用と観光振興			最終予算額	2,440 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	8,000 千円	3,601 千円	0 千円	0 千円	3,602 千円	797 千円
	構成比	100.0 %	45.0 %	0.0 %	0.0 %	45.0 %	10.0 %
	特定財源の名称		●福島再生加速化交付金		●震災復興特別交付税		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		7	商工費	8	旅費	7 千円	普通旅費
10				需用費	4,443 千円	消耗品費40、観光パンフ作成4,403	
1		商工費	11	役務費	20 千円	阿津賀志山トイレ汲取料	
			12	委託料	3,100 千円	阿津賀志山草刈300、マイクロツーリズム2,800	
目		目名称	13	使用料及び賃借料	54 千円	阿津賀志山借地料	
	18		負担金補助及び交付金	376 千円	県観光復興推進委員会123、県観光物産交流協会45、ふくしま広域観光協議会208		
3	観光費			千円			
事業の目的	●米や桃・りんご・あんぼ柿などの農作物、阿津賀志山や防塁などの名所・旧跡、義経まつりや鹿島神社例大祭などのイベント、観光案内拠点・情報提供窓口の道の駅国見あつかしの郷といった町内外に誇れる町の宝（地域資源）を観光という視点で結びつけ、国見町の魅力を増大させ、地域経済の活性化に資する。					 	
事業の概要	①マイクロツーリズム／小旅行の開催（日帰り3回、宿泊2回、合計5回） ②観光パンフレットの作成 ③阿津賀志山頂上の環境整備（草刈、トイレ清掃）						
事業の効果	●地域経済が活性化し、観光客が気持ちよく「国見町に来て良かった」と思い、また再訪し、迎える町の一人一人が「国見町の観光の顔」として、おもてなしの心と町への愛着心を持つ。						
次年度以降の見込み	●継続						

令和6年度「道の駅推進事業」の概要

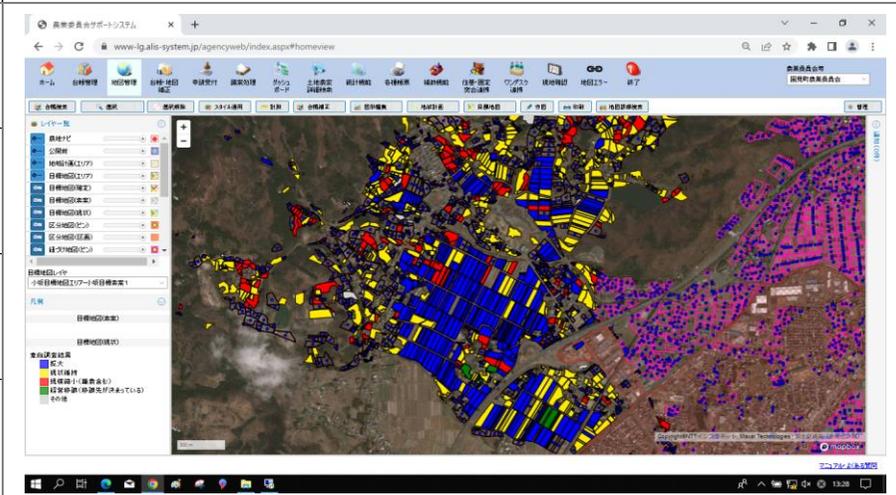
※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	産業振興課		所管係名	商工観光係				
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前 年 度	当初予算額	35,252 千円	
	政 策 名	2	魅力あふれる働きがいのあるまち			補正額（12月補正まで）	970 千円	
	施 策 名	3	道の駅利活用と観光振興			最終予算額	36,222 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	36,755 千円	3,500 千円	0 千円	1,000 千円	29,400 千円	2,855 千円	
	構成比	100.0 %	9.5 %	0.0 %	2.7 %	80.0 %	7.8 %	
	特定財源の名称		●道路橋梁費負担金（道の駅管理負担金）		●緊急防災・減災事業債	●ふるさと振興基金繰入	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		7	商工費	7	報償費	21 千円	道の駅等指定管理者第三者評価選定委員報償	
				8	旅費	35 千円	費用弁償20、普通旅費15	
		1	商工費	10	需用費	58 千円	消耗品費8、燃料費50	
				11	役務費	458 千円	施設検査手数料43、建物災害共済415	
4		まちづくり交流推進費	12	委託料	2,663 千円	駐車場設計1,000、消防286、工作物438、E V 278、建築物561、除草100		
			14	工事請負費	500 千円	消防設備バッテリー交換		
18		負担金補助及び交付金	18	負担金補助及び交付金	120 千円	東北連絡会75、全国連絡会20、スタンプラリー15、空の駅まつり10		
	18		負担金補助及び交付金	32,900 千円	指定管理料（道の駅25,000、つながるーむ5,500、加工施設2,400）			
事業の目的	●年間140万人を超える利用者が訪れ、地域活性化に寄与する道の駅国見あつかしの郷の安定した維持管理等を行う。							
事業の概要	①道の駅国見あつかしの郷、国見町農産物加工施設に係る維持管理費、指定管理料 ②道の駅設置自治体が加入する各道の駅連絡会会費 ③第三者評価選定委員会、農産物加工施設利用促進、指定管理者定例協議							
事業の効果	●道の駅国見あつかしの郷、国見町農産物加工施設の安定した運営管理及び来場者・利用者への利便性の向上等が図られる。							
次年度以降の見込み	●継続							



令和6年度「農業委員会事業」の概要

所管課名	農業委員会		所管係名	農業委員会	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前年度	当初予算額	8,053 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	309 千円
	施 策 名	1	有効な土地利用			最終予算額	8,362 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	8,114 千円	0 千円	3,908 千円	0 千円	265 千円	3,941 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	48.2 %	0.0 %	3.3 %	48.6 %
	特定財源の名称				●農業委員会交付金 ●機構集積支援事業 ●農地利用最適化交付金	●農業者年金事務	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		6	農林水産業費	1	報酬	5,564 千円	農業委員、農地利用最適化推進委員報酬
				7	報償費	8 千円	農地等紛争処理仲介委員
		1	農業費	8	旅費	434 千円	普通旅費、特別旅費
				10	需用費	201 千円	消耗品費、対外交流費
1		農業委員会費	11	役務費	160 千円	通信運搬費	
			12	委託料	1,218 千円	会議録調整、農家台帳保守管理、バス運行委託	
1		農業委員会費	13	使用料及び賃借料	57 千円	電算機借上料	
	18		負担金補助及び交付金	472 千円	県農業会議、福島地方農委連合会、県女性農業委員協議会、県農業者年金協議会、農業会議所育成		
事業の目的	農業委員会の運営に係る事務						
事業の概要	①農地法に基づく事務（農地転用等の許認可、利用権設定、農地の利用状況調査、利用意向調査、農地台帳の整備、耕作放棄地対策等）。 ②農業者年金に関する業務。						
事業の効果	農地利用の最適化（担い手への農地集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進を図ることができる。						
次年度以降の見込み	農地法に基づき継続的に事業を推進する。						



令和6年度「定住化促進総合対策事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	管理係				
総合計画上の位置付け	目 標	6	町として生きるまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,704 千円
	政 策 名	2	人が集まりまた来たくなるまち（交流連携）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	2	移住定住と関係人口創出			最終予算額	4,704 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	4,704 千円	千円	千円	1,500 千円	3,120 千円	84 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	31.9 %	66.3 %	1.8 %
	特定財源の名称				板橋南子育て住宅事業債	町営・定住促進住宅使用料	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
2		総務費	13	使用料及び賃借料	4,704 千円	子育て住宅使用料	
					千円		
項		項名称			千円		
1		総務管理費			千円		
					千円		
	目	目名称			千円		
	8	企画費			千円		
					千円		
事業の目的	子育て世代の町外からの移住定住の促進を図り、人口減少に歯止めをかける。						
事業の概要	板橋南子育て住宅の入居管理、維持管理など						
事業の効果	子育て世代の町外からの移住定住の促進による地域の活性化。						
次年度以降の見込み	継続して管理に努める。						



令和6年度「農業施設整備事業」の概要

所管課名	建設課		所管係名	建設係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	4	恵まれた資源を活かしたまちづくり		前年度	当初予算額	8,271 千円
	政 策 名	1	おいしい農産物のあるまち			補正額（12月補正まで）	5,580 千円
	施 策 名	1	農業生産基盤の整備充実			最終予算額	13,851 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	16,782 千円	0 千円	8,000 千円	0 千円	0 千円	8,782 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	47.7 %	0.0 %	0.0 %	52.3 %
	特定財源の名称		県農業農村整備事業補助金				-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	6	農林水産業費	8	旅費	4 千円	普通旅費	
			10	需用費	81 千円	消耗品費31、大滝公園電気料39、水道料11	
	1	農業費	11	役務費	54 千円	大滝公園浄化槽検査10、建物災害共済10、機械損害5、農業用排水路施設賠償保険29	
			12	委託料	8,642 千円	実施計画策定(大木戸水路)8,500、保守点検26、大滝公園浄化槽管理116	
	6	農地費	13	使用料及び賃借料	3 千円	JR用地借地料	
			14	工事請負費	6,000 千円	農業用施設維持修繕工事(町内会要望分を含む)	
	6	農地費	15	原材料費	200 千円	土地改良資材等	
18			負担金補助及び交付金	1,798 千円	土地連28、西根堰補助1770		
事業の目的	農業用施設(水路・農道・ため池等)についての整備、維持管理を行う。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・農業用施設(水路・農道・ため池等)の整備、実施計画策定、維持管理 ・伊達西根堰事業に対する補助 						
事業の効果	農業生産基盤の整備や維持管理により、農業の生産性向上を図る。						
次年度以降の見込み	継続して農業用施設の維持管理に努める。						



令和6年度「林道整備事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	建設係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,020 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	2,150 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備			最終予算額	6,170 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	13,020 千円	2,700 千円	千円	千円	千円	10,320 千円
	構成比	100.0 %	20.7 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	79.3 %
	特定財源の名称		地方創生道整備推進交付金				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
6		農林水産業費	10	需用費	20 千円	消耗品	
			12	委託料	5,200 千円	維持管理・除草等業務1,200、林道阿津賀志線測量設計4,000	
項		項名称	14	工事請負費	7,800 千円	林道維持管理工事2,800、林道阿津賀志線整備5,000	
2		林業費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
3	林道費			千円			
				千円			
事業の目的	森林資源の有効活用を図るため維持管理を行う。				<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="text-align: center;"> <p>着工前</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>竣工後</p>  </div> </div>		
事業の概要	林道の維持管理および道整備交付金による林道阿津賀志線の待避所・法面整備						
事業の効果	林道を安心して通行できる。						
次年度以降の見込み	継続して林道の維持管理に努める。						

令和6年度「道路維持事業（道路・除雪）」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	建設係						
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり				前年度	当初予算額	32,533 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち					補正額（12月補正まで）	31,915 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備					最終予算額	64,448 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	30,691 千円		千円	千円	6,000 千円	19,139 千円	5,552 千円	
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	19.5 %	62.4 %	18.1 %	
	特定財源の名称				道路橋梁債	道路占用料 公共施設整備基金	-		
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
	8	土木費	1	報酬	2,285 千円	道路監視員2名			
			3	職員手当等	843 千円	道路監視員期末手当			
	項	項名称	8	旅費	124 千円	普通旅費46、道路監視員通勤手当78			
	2	道路橋梁費	10	需用費	430 千円	資器材100、駅前駐輪場電気料77、融雪剤253			
			11	役務費	179 千円	借上除雪車保険料			
	目	目名称	12	委託料	2,730 千円	植樹管理900、敷砂利165、町道維持165、除雪等1,500			
	2	道路維持費	13	使用料及び賃借料	100 千円	機械借上料70、借地料30			
			14	工事請負費	23,000 千円	町道修繕13,000、町内会要望10,000(5地区×2,000)			
			15	原材料費	1,000 千円	道路補修材			
事業の目的	生活道路の安全安心を保持するため維持管理を行う。				<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">舗装修繕</div>  </div>				
事業の概要	町道の維持管理（除雪を含む）								
事業の効果	生活に密着した道路が安心して通行できる。								
次年度以降の見込み	継続して町道の維持管理に努める。								

令和6年度「橋梁維持事業」の概要

所管課名	建設課		所管係名	建設係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。							
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	46,348 千円					
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円					
	施 策 名	4	道路・河川の整備			最終予算額	46,348 千円					
予 算 額	総事業費			特 定 財 源				一般財源				
	金 額	250,148 千円		国庫支出金	151,250 千円	県支出金	千円	地方債	81,000 千円	その他	千円	17,898 千円
	構成比	100.0 %		60.5 %	0.0 %	32.4 %	0.0 %	7.2 %				
	特定財源の名称			道路メンテナンス事業補助金		橋梁補修事業債		-				
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
		8	土木費	10	需用費	48 千円	徳江大橋電気料					
				12	委託料	20,000 千円	橋梁点検診断業務(JR跨線橋・日照田橋)					
		項	項名称	14	工事請負費	230,100 千円	修繕工事・徳江大橋ほか2橋230,000、補修工事100					
		2	道路橋梁費			千円						
						千円						
目	目名称			千円								
3	橋梁維持費			千円								
				千円								
事業の目的	既存橋梁の維持管理を行う。											
事業の概要	既存橋梁の点検診断業務1橋、修繕工事3橋、維持管理、電気料											
事業の効果	既存橋梁の適正な維持管理により安全な通行ができる。											
次年度以降の見込み	継続して橋梁の維持管理に努める。											

令和6年度「道路改良舗装事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	建設係						
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり				前年度	当初予算額	159,723 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち					補正額 (12月補正まで)	48,050 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備					最終予算額	207,773 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	234,829 千円		93,775 千円	千円	71,300 千円	千円	69,754 千円	
	構成比	100.0 %		39.9 %	0.0 %	30.4 %	0.0 %	29.7 %	
	特定財源の名称		社総金(道路事業) 地方創生道整備推進交付金		道路橋梁債		復興基金繰入金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		8	土木費	8	旅費	31 千円	普通旅費		
				10	需用費	198 千円	消耗品70、燃料費128		
		項	項名称	12	委託料	66,000 千円	防災安全交付金事業(町道108・2059号歩道)30,000、町単事業(7路線)36,000		
		2	道路橋梁費	14	工事請負費	167,486 千円	社総金(2路線)40,486、地方創生事業(町道4号)110,000、町単事業(4路線)17,000		
16				公有財産購入費	512 千円	社総金412、町単事業100			
目	目名称	21	補償補填及び賠償金	602 千円	物件補償				
4	道路橋梁新設改良費			千円 千円					
事業の目的	狭隘道路、未舗装道路を改良、舗装して安全安心な町道の整備を行う。				<div style="text-align: center;">町道改良工事</div> 				
事業の概要	町道4号改良工事ほか								
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・通行の安全を確保することができる。 ・集落内の狭隘道路の改良を進める。 								
次年度以降の見込み	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な路線の整備を引き続き進める。 ・地方創生事業により町道4号舗装整備を進める。 								

令和6年度「河川維持管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	建設係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	12,185 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	4	道路・河川の整備			最終予算額	12,185 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	13,192 千円	千円	92 千円	12,000 千円	832 千円	268 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.7 %	91.0 %	6.3 %	2.0 %
	特定財源の名称			河川水門管理委託金	緊急浚渫推進事業債	緊急河川整備受託金	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	8	土木費	10	需用費	200 千円	クリーンアップ作戦消耗品(ごみ袋・土のう袋・軍手)	
			11	役務費	1 千円	火災保険料	
	3	河川費	12	委託料	935 千円	河川維持836、水門管理99	
			14	工事請負費	12,000 千円	滑川浚渫工事(浚渫債事業)	
	1	河川総務費	18	負担金補助及び交付金	56 千円	県砂防協会8、県治水協会40、阿武上期成同盟会8	
						千円	
2	川維持費			千円			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 河川維持管理を進める。 河川氾濫・災害等への対応として、町管理河川の整備を進める。 					<p>滑川改修工事</p> 	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> クリーンアップ作戦 県からの受託となる樋門管理等の業務 緊急浚渫推進事業債を活用した滑川の浚渫工事 						
事業の効果	河川の災害対応を進めるとともに維持作業による管理を進める。						
次年度以降の見込み	継続して河川の維持管理に努める。						

令和6年度「都市計画事業」の概要

所管課名	建設課		所管係名	管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	12,958 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち			補正額（12月補正まで）	5,567 千円
	施 策 名	1	有効な土地利用			最終予算額	18,525 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	6,423 千円	1,140 千円	1,870 千円	千円	3,413 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	17.7 %	29.1 %	0.0 %	53.1 %	0.0 %
	特定財源の名称		ブロック塀等の安全確保支援事業 住宅建築物耐震改修等事業	ブロック塀等の安全確保支援事業 住宅建築物耐震改修等事業 空き家対策補助事業		屋外広告物許可申請手数料 町有地貸付料 町営・定住促進住宅使用料(現年度)	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
8		土木費	1	報酬	172 千円	都市計画審議会委員63、空家等対策協議会委員109	
			8	旅費	86 千円	費用弁償73、普通旅費13	
4		都市計画費	10	需用費	243 千円	消耗品37、ニュータウン街路・公園電気料173、水道料33	
			11	役務費	122 千円	遊具点検27、ニュータウン公園等建物災害共済95	
目		目名称	12	委託料	2,353 千円	消防点検198、ニュータウン施設管理957、耐震診断者派遣1,198	
			14	工事請負費	600 千円	みなし道路後退用地舗装改良600	
1	都市計画総務費	18	負担金補助及び交付金	2,847 千円	都計協20、区画協7、街路協15、まち協5、空家除去1,300、耐震改修1,000		
事業の目的	都市計画区域内の均衡ある発展と安心安全な都市環境の保全を行う。						
事業の概要	都市計画関連業務、木造耐震改修支援、空家等除去費補助など						
事業の効果	均衡ある都市環境の形成および安全な居住環境の確保を図ることができる。						
次年度以降の見込み	継続してマスタープラン等の進行管理を行うとともに耐震改修支援等を継続して進める。						



令和6年度「住宅維持管理事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課	所管係名	管理係						
総合計画上の 位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり				前 年 度	当初予算額	21,579 千円
	政 策 名	2	便利で快適なまち					補正額（12月補正まで）	6,740 千円
	施 策 名	3	住宅の整備と空家対策					最終予算額	28,319 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	19,815 千円	1,575 千円	千円	3,300 千円	14,940 千円	千円		
	構成比	100.0 %	7.9 %	0.0 %	16.7 %	75.4 %	0.0 %		
	特定財源の名称		社総金(老朽公営住宅除却事業)		老朽化公営住宅除却事業債		町営・定住促進住宅使用料 町営・定住促進住宅駐車場使用料		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
		8	土木費	7	報償費	85 千円	住宅管理人報償		
				8	旅費	5 千円	普通旅費		
		項	項名称	10	需用費	2,279 千円	消耗品359、電気料684、水道料36、修繕料1,200		
		5	住宅費	11	役務費	531 千円	口座振替53、水道検査等40、建物災害共済5、公営住宅火災共済433		
			12	委託料	5,950 千円	消防設備537、浄化槽157、排水管2,565、EV保守1,452、特定建築物定期検査682、受水槽157、植栽400			
目		目名称	14	工事請負費	10,950 千円	老朽公営住宅除却4,950、施設修繕6,000			
1	住宅管理費	18	負担金補助及び交付金	15 千円	地域住宅協議会10、公営住宅管理研修会5				
				千円					
事業の目的	住宅困窮者の生活の安定と社会福祉の増進を行う。								
事業の概要	町営住宅の維持管理など								
事業の効果	住宅に困窮している人へ低価な家賃での住宅提供を図り、安定した生活に資する。								
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努め、使用料の収納率向上に向けての対策を進める。								

令和6年度「水防事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	建設課		所管係名	管理係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全、安心、優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	589 千円
	政 策 名	1	安全・安心に暮らせるまち（防災防犯）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	防災と災害時対策の充実			最終予算額	589 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	800 千円	千円	千円	千円	千円	800 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
9		消防費	10	需用費	405 千円	消耗品費93、光熱水費312	
			12	委託料	395 千円	施設管理395	
1		消防費			千円		
					千円		
4		水防費			千円		
				千円			
事業の目的	新割地区内水ポンプ稼働による農用地の浸水被害対応						
事業の概要	新割地区内水ポンプ稼働						
事業の効果	新割地区内水ポンプ稼働により農用地の浸水被害の軽減を図る						
次年度以降の見込み	継続						



令和6年度「合併処理浄化槽設置整備事業」の概要

所管課名	上下水道課		所管係名	下水道係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安心・安全な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	5,163 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	2,855 千円
	施 策 名	1	循環・再生型社会の実現			最終予算額	8,018 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	7,302 千円	2,412 千円	1,390 千円	0 千円	0 千円	3,500 千円
	構成比	100.0 %	33.0 %	19.0 %	0.0 %	0.0 %	47.9 %
	特定財源の名称		循環型社会形成交付金	県補助金			-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	4	衛生費	8	旅費	3 千円	各種会議	
			12	委託料	33 千円	合併処理浄化槽台帳システム入力業務委託	
	項	項名称	18	負担金補助及び交付金	7,266 千円	合併処理浄化槽設置整備補助金7,236千円、県浄化槽協会負担金30千円	
	1	保健衛生費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
3	環境衛生費			千円			
				千円			
事業の目的	個人が設置する合併処理浄化槽設置整備補助を行うことにより、合併処理浄化槽の整備を促進し、生活環境の改善を目指す。						
事業の概要	<ol style="list-style-type: none"> 合併処理浄化槽設置者への補助事務 国・県の合併処理浄化槽設置整備補助金事務 合併処理浄化槽の台帳管理及び勧奨等 						
事業の効果	合併処理浄化槽の設置者への補助金の交付等により、生活排水の適正な処理を促進し、地域の生活環境の改善が図られる。						
次年度以降の見込み	地域の生活環境を維持するため、継続した取り組みが必要。						



令和6年度「教育委員会事務事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前年度	当初予算額	19,636 千円				
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）			補正額（12月補正まで）	-1,436 千円				
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成			最終予算額	18,200 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	50,669 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	358 千円	地方債	0 千円	その他	4,358 千円	45,953 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.7 %	0.0 %	8.6 %	90.7 %				
	特定財源の名称				部活動指導員配置促進事業補助金		ふるさと振興基金 外国人青年住居負担金等		-		
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
予 算 額	10	教育費	1	報酬	13,589 千円	教育委員、会計年度任用職員、各種委員（いじめ専門委員、コミュニティスクール委員等）					
			2	給料	6,262 千円	会計年度任用職員給料					
			3	職員手当等	6,612 千円	会計年度任用職員各種手当等					
	項	項名称	4	共済費	1,333 千円	会計年度任用職員共済組合負担金					
			7	報償費	5,597 千円	各種委員、講師、指導員等報償、幼小中入学支援祝品					
			8	旅費	2,314 千円	職員等通勤手当、各種委員等費用弁償、研修視察旅費等					
	1	教育総務費	9	交際費	90 千円	教育長交際費					
			10	需用費	343 千円	事務用品、参考図書、公用車燃料等					
			11	役務費	137 千円	回線使用料、部活動地域移行コーディネーター損害保険、公用車保険等					
	目	目名称	12	委託料	300 千円	先進地視察時バス運行委託					
			13	使用料及び賃借料	490 千円	ALT（外国人指導助手）住宅借上料、駐車料金					
			18	負担金補助及び交付金	13,602 千円	職員等退職手当組合負担金、教育委員研修・各種団体負担金、教育研究会等補助金					
	事業の目的	教育委員会の運営、保幼小中連携一貫教育、いじめ防止・健全育成、国際理解教育等を図り、子どもたちの教育環境の維持向上を目的とする。									
	事業の概要	教育委員会の開催、コミュニティ・スクール委員会、いじめ防止対策条例による委員会、外国青年受入れ事業、保幼小中一貫教育推進事業、部活動地域移行推進事業、教育支援委員会、事務の点検及び評価									
	事業の効果	教育行政として重要事項や基本方針の決定を行う。保幼小中連携一貫教育が推進される。学校・家庭・地域が役割と責任を自覚し、地域全体で教育活動を支援する意識が高まる。いじめ防止に関係する機関、団体の連携が推進される。いじめ防止の対策が明確に示される。英語発音や国際理解教育の向上を図られる。									
	次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施									

令和6年度「学力向上対策事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係・こども教育係									
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	2,585 千円					
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	342 千円					
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成				最終予算額	2,927 千円					
予 算 額			総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額		8,526 千円		国庫支出金	0 千円	県支出金	850 千円	地方債	0 千円	その他	6,000 千円	1,676 千円
	構 成 比		100.0 %		0.0 %	10.0 %	0.0 %	70.4 %	19.7 %				
	特定財源の名称			森林環境交付金						-			
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額		明 細					
		10	教育費	7	報償費	372 千円		講師謝金					
				8	旅費	59 千円		費用弁償					
項		項名称	10	需用費	115 千円		消耗品、賞状印刷費						
1		教育総務費	11	役務費	27 千円		損害保険料						
			12	委託料	7,706 千円		学力診断テスト、バス運行委託、Q-Uテスト、ICT支援員配置						
目	目名称	13	使用料及び賃借料	23 千円		自動車借上料、入場料							
3	学力向上対策費	18	負担金補助及び交付金	224 千円		教職員研修会時負担金、中学2・3年生英語数学検定試験補助金							
				千円									
事業の目的	学力向上、運動能力向上・体力向上、ICT教育の充実 英語教育の充実、不登校児童・生徒のサポート												
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学力テスト、体力テストの実施 ・ICT支援員配置 ・英語学力向上対策、英会話体験講座の開設 ・英語、数学検定試験受験料補助金 ・教育支援センター「ステップ」事業 												
事業の効果	学力・体力テストの結果を分析し、自校の課題を明確にし、授業の改善・充実を図る。 ICTを活用した授業の充実・強化。 英語への関心、学習意欲の維持向上及びコミュニケーション能力の伸長。 個に応じた学習支援による、不登校等児童生徒の社会的自立に向けた支援の強化、充実。												
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施												



令和6年度「育英事業」の概要

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前年度	当初予算額	4,430 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	3	学習環境の充実			最終予算額	4,430 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	4,808 千円	2,061 千円	千円	千円	2,746 千円	1 千円
	構成比	100.0 %	42.9 %	0.0 %	0.0 %	57.1 %	0.0 %
	特定財源の名称		奨学金を活用した若者の地方定着促進事業		奨学基金繰入金		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	1	報酬	20 千円	貸付審査会委員報酬
				11	役務費	5 千円	手数料
		項	項名称	18	負担金補助及び交付金	2,062 千円	貸付審査会委員公務災害負担金、町奨学資金返還支援補助金
		1	教育総務費	20	貸付金	2,720 千円	修学資金（新規・継続）
24				積立金	1 千円	積立金（基金利子分）	
目	目名称			千円			
4	育英事業費			千円			
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> ・町内出身の学生が能力があるにもかかわらず経済的な理由により修学困難と認められたとき、奨学資金を貸与することで教育の機会均等を図り、健全な社会の発展に資する。 ・奨学金の返還を行う者に対して経済的負担軽減を図り、若者の定住促進を図る。 						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、高等専門学校、大学で学びたい学生に奨学金、入学支度金を貸与する。（修学資金、入学支度金） ・在学時に借入れた奨学資金の返済額について補助金を支給する。 						
事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> ・学生が進学を断念することなく、教育の機会均等が図られる。 ・若者の定住促進が図られる。 						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施						



令和6年度「小学校管理事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	73,026 千円			
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	4,580 千円			
	施 策 名	3	学習環境の充実				最終予算額	77,606 千円			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	87,149 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	2,325 千円	地方債	6,000 千円	その他	2,658 千円	76,166 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	2.7 %	6.9 %	3.0 %	87.4 %				
	特定財源の名称			スクールソーシャルワーカー緊急派遣事業	指定避難所環境整備事業債	電力売電収入、日本スポーツ振興センター掛金保護者負担分、文教施設整備基金繰入金	-				
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	10	教育費	1	報酬	15,703 千円	会計年度任用職員（SSW（スクールソーシャルワーカー）、用務員、特別支援）、学校医、学校薬剤師					
			2	給料	2,630 千円	会計年度任用職員（学校司書）					
			3	職員手当等	6,491 千円	会計年度任用職員各種手当（通勤、超過勤務、期末・勤勉）					
	2	小学校費	4	共済費	1,607 千円	会計年度任用職員共済組合負担金					
			7	報償費	1,200 千円	英語非常勤講師報償					
			8	旅費	862 千円	会計年度任用職員通勤手当、SSW会議、支援員児童引率等					
	1	学校管理費	10	需用費	11,220 千円	事務用品、用務員燃料代、光熱水費、感染予防消毒、プール用薬品、トイレ修繕等					
			11	役務費	1,175 千円	郵便料、電話料、各種点検検査手数料、建物共済保険料等					
			12	委託料	40,796 千円	健康管理諸検査、システム運用、施設設備保守点検、学校警備、バス運行、体育館空調設備設計等					
	1	学校管理費	13	使用料及び賃借料	1,437 千円	AED、コピー機、清掃用具等借上、駐車場敷地借地料等					
			14	工事請負費	2,700 千円	スクールバスロータリー整備					
			17	備品購入費	1,000 千円	校務用パソコン、加湿器等					
18			負担金補助及び交付金	266 千円	日本スポーツ振興センター負担金						
			21	補償補填及び賠償金	62 千円	授業目的公衆送信補償金（授業等で著作権がある画像等を使用するための補償金）					
事業の目的	社会の変化に対応した、安全安心な教育環境の提供										
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎等の維持管理（ICT環境整備、法定整備点検等） ・SSW,学校医,英語教育非常勤講師等の配置 ・スクールバスの運行、ロータリー整備 ・校務用（教師用）パソコン更新 										
事業の効果	教育環境の整備に努めることで、児童及び保護者、教職員が安心して効果的に学習活動に取り組むことができる。										
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施										

令和6年度「小学校教育振興事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係・こども教育係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前年度	当初予算額	9,614 千円
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	7,011 千円
	施 策 名	3	学習環境の充実				最終予算額	16,625 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	5,527 千円	105 千円	0 千円	千円	0 千円	5,422 千円	
	構成比	100.0 %	1.9 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	98.1 %	
	特定財源の名称		特別支援教育奨励費				-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	7	報償費	227 千円	総合学習講師報償、運動会参加賞、卒業記念品		
			10	需用費	1,100 千円	教材費、楽器等修繕		
	項	項名称	11	役務費	264 千円	モバイルルーター通信料		
	2	小学校費	12	委託料	1,122 千円	知能テスト、校外学習送迎委託業務、プログラミングロボット運用業務		
			13	使用料及び賃借料	1,133 千円	電子黒板リース、i-FILTERライセンス、入場料		
	目	目名称	17	備品購入費	794 千円	糸のこ盤、マーチングキーボード、ミシン、デジタル長座体前屈計、児童図書		
2	教育振興費	19	扶助費	887 千円	要保護・準用保護児童就学援助費、特別支援教育就学奨励費補助金			
					千円			
事業の目的	すべての児童の情報活用能力及び言語能力に支えられた学習の基盤となる資質・能力の育成。							
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教材備品・ICT環境の充実 ・要保護・準用保護児童就学援助及び特別支援教育就学奨励費補助金 							
事業の効果	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての児童の学力の向上、豊かな心の育成、健康・体力の向上を図る。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施							

令和6年度「中学校管理事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	29,129 千円	
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	5,999 千円	
	施 策 名	3	学習環境の充実				最終予算額	35,128 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	34,016 千円		0 千円	0 千円	0 千円	60 千円	33,956 千円	
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.2 %	99.8 %	
特定財源の名称						日本スポーツ振興センター掛金保護者負担分		-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
	10	教育費	1	報酬	8,220 千円	会計年度任用職員（用務員、特別支援）、学校医、学校薬剤師			
			3	職員手当等	2,910 千円	会計年度任用職員各種手当（期末・勤勉）			
			4	共済費	712 千円	会計年度任用職員共済組合負担金			
	項	項名称	7	報償費	660 千円	SC（スクールカウンセラー）報償			
			8	旅費	207 千円	会計年度任用職員、S C通勤手当、支援員引率			
	3	中学校費	10	需用費	11,007 千円	事務用品、用務員燃料代、光熱水費、感染予防消毒、プール用薬品、施設修繕等			
			11	役務費	1,222 千円	郵便料、電話料、各種点検検査手数料、建物共済保険料等			
			12	委託料	6,536 千円	健康管理諸検査、システム運用、施設設備保守点検、学校警備、エアコン清掃等			
	1	学校管理費	13	使用料及び賃借料	990 千円	A E D、コピー機、清掃用具等借上、駐車場敷地借地料等			
			14	工事請負費	200 千円	施設修繕工事			
			17	備品購入費	1,164 千円	校務用パソコン、生徒用イス、洗濯機			
18			負担金補助及び交付金	144 千円	日本スポーツ振興センター負担金				
21			補償補填及び賠償金	44 千円	授業目的公衆送信補償金（授業等で著作権がある画像等を使用するための補償金）				
事業の目的	社会の変化に対応した、安全安心な教育環境の提供								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎等の維持管理（ICT環境整備、法定整備点検等） ・SC、学校医の配置 								
事業の効果	教育環境の整備に努めることで、生徒及び保護者、教職員が安心して効果的に学習活動に取り組むことができる。								
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施								

令和6年度「中学校教育振興事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	総務係・こども教育係					
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	8,628 千円	
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち（義務教育）				補正額（12月補正まで）	353 千円	
	施 策 名	3	学習環境の充実				最終予算額	8,981 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
	金 額	8,443 千円	国庫支出金	140 千円	県支出金	0 千円	地方債	千円	
	構成比	100.0 %	国庫支出金	1.7 %	県支出金	0.0 %	地方債	0.0 %	
	特定財源の名称		特別支援教育奨励費				その他		0 千円
									8,303 千円
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
	10	教育費	7	報償費	345 千円	総合学習講師報償、子ども議会参加記念品、卒業記念品			
			10	需用費	1,600 千円	教材費、楽器等修繕			
	3	中学校費	11	役務費	291 千円	モバイルルーター通信料、修学旅行企画料			
			12	委託料	228 千円	知能テスト、伊達地区音楽祭送迎委託業務、プログラミングロボットシステム運用業務			
	目	目名称	13	使用料及び賃借料	1,106 千円	電子黒板リース、i-FILTERライセンス、教材借上料等			
			17	備品購入費	1,289 千円	鉄琴（楽器）、大型ディスプレイ、ワイヤレスアンプ、生徒用図書			
	2	教育振興費	18	負担金補助及び交付金	2,000 千円	部活動補助金			
19			扶助費	1,584 千円	要保護・準用保護児童就学援助費、特別支援教育就学奨励費補助金				
事業の目的	すべての生徒の情報活用能力及び言語能力に支えられた学習の基盤となる資質・能力の育成。まちづくり参画への意識の醸成。								
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・教材備品・ICT環境の充実 ・要保護・準用保護児童就学援助及び特別支援教育就学奨励費補助金 ・部活動補助金 ・子ども議会の開催 								
事業の効果	創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することで、主体的・対話的で深い学びを実現し、すべての児童の学力の向上、豊かな心の育成、健康・体力の向上を図る。 まちづくり参画への意識を醸成し、また、子どもたちの主体性を育み、心身ともに健康で人間性豊かに成長する一助とする。								
次年度以降の見込み	次年度以降も継続実施								



令和6年度「学校給食事業」の概要

所管課名	教育総務課		所管係名	給食センター	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	86,839 千円	
	政 策 名	2	生きる力をはぐくむまち			補正額（12月補正まで）	2,408 千円	
	施 策 名	1	子どもの生きる力の育成			最終予算額	89,247 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	106,273 千円		千円	318 千円	30,000 千円	56,240 千円	19,715 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.3 %	28.2 %	52.9 %	18.6 %
	特定財源の名称			ふくしま旬の食材等活用推進事業	給食費無償化事業債	給食事業収入5,414千円、文教施設整備基金繰入金23,436千円、ふるさと振興基金繰入金27,390千円		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		10	教育費	1	報酬	73 千円	給食センター運営委員報酬	
				8	旅費	9 千円	費用弁償、普通旅費	
		項	項名称	10	需用費	50,511 千円	消耗品費、燃料費、光熱水費、修繕料、賄材料費	
		6	保健体育費	11	役務費	698 千円	通信運搬費、手数料、火災保険料、損害保険料	
12				委託料	32,991 千円	調理業務、炊飯加工業務、施設管理等		
目		目名称	14	工事費	15,510 千円	蒸気ポイラー2基、受変電設備の更新		
3		学校給食費	17	備品購入費	6,426 千円	スチームコンベクションオープン、消毒保管機等の更新		
	18		負担金補助及び交付金	17 千円	負担金			
	26		公課費	38 千円	自動車重量税			
事業の目的	学校給食における児童生徒の健康増進、体位の向上と望ましい食習慣の形成を目指し、より一層安全で「喜ばれる学校給食」を提供する。				 <p>令和5年7月6日 『たなばた献立』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・黒パン ・牛乳 ・お星さまコロッケ ・お星さまのサラダ ・天の川スープ ・たなばたゼリー 			
事業の概要	①安全・安心な学校給食の提供、②食育指導の充実、③給食センター運営委員会 ④学校給食献立作成委員会、⑤給食センター施設の管理運営、⑥設備・備品の更新							
事業の効果	学校給食を活用した食育を推進することで、「健康増進」「正しい食習慣」「感謝の心」 「郷土愛」「生産・流通・消費」について学習することができる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続事業							

令和6年度「藤田保育所運営事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	67,408 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額（12月補正まで）	8,164 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	75,572 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金		地方債		
	金 額	88,064 千円		1,037 千円	1,268 千円	0 千円	14,219 千円	71,540 千円
	構成比	100.0 %		1.2 %	1.4 %	0.0 %	16.1 %	81.2 %
	特定財源の名称			地域の子ども・子育て支援事業交付金	保育対策総合支援事業費補助金、地域の子ども・子育て支援事業交付金	保護者一部負担金 給食事業収入		-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	1	報酬	16,139 千円	会計年度任用職員（保育士）、超過勤務手当	
				2	給料	27,005 千円	会計年度任用職員（保育士、看護師、事務員）	
				3	職員手当等	15,949 千円	会計年度任用職員各種手当（通勤、超過勤務、期末・勤勉）	
		項	項名称	4	共済費	3,943 千円	会計年度任用職員共済組合負担金	
2		児童福祉費	7	報償費	245 千円	子育て支援事業講師、定期健診医師、修了記念品等		
			8	旅費	384 千円	会計年度任用職員通勤手当、講師旅費、保育士研修		
			10	需用費	14,667 千円	事務用品、厨房用品、光熱水費、施設修繕、おやつ、医薬品、衛生用品		
			11	役務費	567 千円	電話料、健診等手数料、ピアノ調律、口座振替手数料、建物共済保険料		
目		目名称	12	委託料	7,868 千円	施設設備保守点検、除草業務、電算処理、講師派遣研修、給食調理		
2	常設保育所施設費	13	使用料及び賃借料	288 千円	A E D、コピー機、清掃用具等借上			
		14	工事請負費	132 千円	外灯設置工事			
		17	備品購入費	809 千円	抗菌マット、大型ベビーカー、室内遊具、図書等			
		18	負担金補助及び交付金	68 千円	日本スポーツ振興センター、県社会福祉協議会、保育協議会等負担金			
事業の目的	保護者が就労等により、日中の時間に子どもの保育ができない家庭の子どもを常設の保育所で預かり、専門知識を有する保育士が保育を行うことで保護者の支援を行う。							
事業の概要	①藤田保育所において、0歳児からの保育 ②延長・一時預かり等の特別保育事業を実施 ③子育て支援センターでの育児相談や指導、情報提供 ④子育てサークル等の育成支援を実施							
事業の効果	・保育を必要とする乳児等を保育し、子どもの健やかな成長と発達の支援を行う。 ・就労等で保育できない保護者の子育て支援策となる。 ・在宅保育者が子育てサークル等へ積極的に参加できる。							
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。							

令和6年度「くにみ幼稚園運営事業」の概要

所管課名	教育総務課・教育施設課		所管係名	総務係・こども教育係・施設管理係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	44,526 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち				補正額（12月補正まで）	130 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進				最終予算額	44,656 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源		
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他			
	金 額	53,356 千円		0 千円	0 千円	0 千円	350 千円	53,006 千円	
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.7 %	99.3 %	
特定財源の名称						日本スポーツ振興センター掛金保護者負担分			-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細			
	3	民生費	1	報酬	3,308 千円	会計年度任用職員（養護教諭、講師）、超過勤務手当			
			2	給料	24,698 千円	会計年度任用職員（用務員、幼稚園教諭）			
			3	職員手当等	11,023 千円	会計年度任用職員各種手当（通勤、超過勤務、期末・勤勉）			
	項	項名称	4	共済費	2,666 千円	会計年度任用職員共済組合負担金			
	2	児童福祉費	7	報償費	322 千円	講師謝礼（研修、英語活動、運動教室）、定期健診医師、修了記念品等			
			8	旅費	207 千円	会計年度任用職員通勤手当、講師費用弁償、遠足引率、職員研修			
			10	需用費	6,368 千円	事務用品、印刷代コピー代、光熱水費、燃料代、施設修繕、医薬品、衛生用品			
			11	役務費	411 千円	電話料、内科眼科健診、浄化槽点検、ピアノ調律等手数料、建物共済保険料			
	目	目名称	12	委託料	3,120 千円	施設設備保守点検、エアコン清掃、園舎警備、電算処理、健康管理諸検査、バス運行			
2	常設保育所施設費	13	使用料及び賃借料	448 千円	A E D、印刷機コピー機、清掃用具等借上、遠足時入場料				
		17	備品購入費	580 千円	三輪車、スノコ、積み木等				
		18	負担金補助及び交付金	205 千円	研修参加費、日本スポーツ振興センター、幼稚園長会負担金、通園補助金				
事業の目的	3歳から5歳の幼児に対して就学前の教育を行い、様々な体験を重ねることで生きる力の基礎や小学校教育への基礎を身につける。								
事業の概要	幼児期にふさわしい生活を展開する中で、生涯にわたる人格形成の基礎、生きる力の基礎を培う。3歳児から5歳児までの3年間、意図的環境、計画的な指導援助による幼児教育。担任、副担任、支援員配置によるきめ細かな援助、個々の発達に即した教育、保育英語活動、食育教室、家読の推進、収穫祭など特色ある保育活動の実施。								
事業の効果	幼稚園で幼児が自ら環境に関わり直接体験を重ねることで、生きる力の基礎や小学校教育の基礎が身に付く。複数担任制で保育を行うことで、幼児一人一人の心身の発達をより助長することができる。幼児期から楽しく英語に親しむことで小学校からの英語学習に意欲をもって取り組むことができる。								
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。								

令和6年度「児童健全育成事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育総務課		所管係名	こども教育係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	4,115 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	3,348 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	7,463 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	7,898 千円	1,266 千円	543 千円	0 千円	0 千円	6,089 千円
	構成比	100.0 %	16.0 %	6.9 %	0.0 %	0.0 %	77.1 %
	特定財源の名称		子どものための教育・保育給付費	子どものための教育・保育給付費			-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		3	民生費	7	報償費	186 千円	子ども子育て支援推進協議会委員報償
8				旅費	210 千円	子ども子育て支援推進協議会委員費用弁償等	
2		児童福祉費	10	需用費	500 千円	遊具撤去・修繕【500千円 教育施設課分】	
			12	委託料	3,854 千円	計画策定業務、子育て支援アプリ導入、屋外遊具定期（劣化）点検業務【1,284千円 教育施設課分】	
目		目名称	13	使用料及び賃借料	240 千円	子育て支援アプリライセンス使用料	
	18		負担金補助金及び交付金	2,863 千円	病後児保育負担金、私立認定こども園負担金		
3	児童健全育成費	19	扶助費	45 千円	一時預かり利用料助成		
				千円			
事業の目的	保育所や幼稚園などの事業以外においても、各種の子育て支援事業を展開し、子育て中の家庭を支援していくもの。						
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・病児・病後児保育負担金、緊急サポート事業利用時の助成 ・子ども・子育て支援計画策定 ・私立認定こども園負担金 ・子育て支援アプリ導入 ・屋外遊具撤去、修繕【教育施設課】 ・屋外遊具定期（劣化）調査【教育施設課】 						
事業の効果	様々な事業を展開し、子育てを支援することで、子どもたちの健やかな成長の一助となる。						
次年度以降の見込み	子育てを取り巻く環境の変化に応じて、適切な事業を行い、子育てを支援していく。						



令和6年度「子どもクラブ事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	教育施設課		所管係名	施設管理係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	34,854 千円
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	6,765 千円
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	41,619 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	51,766 千円	6,546 千円	6,546 千円	0 千円	5,094 千円	33,580 千円
	構成比	100.0 %	12.6 %	12.6 %	0.0 %	9.8 %	64.9 %
	特定財源の名称		地域の子ども・子育て支援事業交付金	地域の子ども・子育て支援事業交付金		保護者負担金5,042千円 スポーツ保険負担金52千円	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	3	民生費	1	報酬	33,609 千円	会計年度任用職員報酬	
			3	職員手当等	11,790 千円	会計年度任用職員期末・勤勉手当	
	2	児童福祉費	4	共済費	2,463 千円	会計年度任用職員共済費	
			8	旅費	1,119 千円	会計年度任用職員通勤手当、職員研修	
	3	児童健全育成費	10	需用費	1,777 千円	子どもクラブ事業消耗品、光熱水費、修繕料等	
			11	役務費	228 千円	電話料、スポーツ保険掛金等	
	3	児童健全育成費	12	委託料	662 千円	保護者連絡網、登降園システム、施設警備等	
13			使用料及び賃借料	118 千円	清掃用具、AED借上		
事業の目的	保護者の就労等により日中家庭での保育が困難な児童を対象に、放課後の時間帯において、適切な遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。						
事業の概要	国見小学校の児童（1年生から6年生）の放課後児童クラブ利用希望者に対して、平日の放課後、土曜日・夏休み等長期休業中は1日、支援員及び支援補助員が様々な遊びや生活の場を提供する。						
事業の効果	就労等により保育が困難な保護者の支援のほか、子どもたちには異学年の交流、毎日の学習や生活習慣の定着など、放課後の生活が充実したものとなる。						
次年度以降の見込み	充実した事業となるよう、さまざまな工夫をしながら環境の変化に合わせた支援を進めていく。						

令和6年度「預かり保育運営事業（くにみ幼稚園）」の概要

所管課名	教育総務課		所管係名	こども教育係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	21,633 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	2,373 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	24,006 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	27,602 千円		4,993 千円	3,214 千円	0 千円	65 千円	19,330 千円
	構成比	100.0 %		18.1 %	11.6 %	0.0 %	0.2 %	70.0 %
	特定財源の名称			地域の子ども・子育て支援事業交付金	地域の子ども・子育て支援事業交付金		幼稚園保育料	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		3	民生費	1	報酬	10,549 千円	会計年度任用職員報酬（パート）	
				2	給料	7,656 千円	会計年度任用職員給料（フル）	
		2	児童福祉費	3	職員手当等	6,951 千円	会計年度任用職員通勤手当、超過勤務手当、期末手当、勤勉手当（フル・パート）	
				4	共済費	1,642 千円	会計年度任用職員共済費（フル・パート）	
3		児童健全育成費	8	旅費	326 千円	会計年度任用職員通勤手当（パート）		
			10	需用費	400 千円	預かり保育事業消耗品、燃料費、医薬材料費、施設等修繕【100千円 教育施設課分】		
3		児童健全育成費	11	役務費	46 千円	電話料【46千円 教育施設課分】		
	13		使用料及び賃借料	32 千円	自動車借上、清掃用具借上			
事業の目的	くにみ幼稚園児の保護者が就労等により、家庭で保育できない園児を対象に幼稚園の降園後、遊びや生活の場を提供し、健全な育成を図る。							
事業の概要	くにみ幼稚園と同じ建物の預かり保育室において、平日の午後、土曜日・夏休み等長期休業中は終日、利用希望する子どもの保育を行う。							
事業の効果	就労等により保育が困難な保護者の支援、園児の健やかな成長の一助となる。							
次年度以降の見込み	充実した事業となるよう、さまざまな工夫をしながら環境の変化に合わせた支援を進めていく。							



令和6年度「くにみももたん広場運営事業」の概要

所管課名	教育施設課		所管係名	施設管理係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	13,291 千円				
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち			補正額（12月補正まで）	1,650 千円				
	施 策 名	1	子育て支援の推進			最終予算額	14,941 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	16,964 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	9,269 千円	地方債	0 千円	その他	2,709 千円	4,986 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	54.6 %	0.0 %	16.0 %	29.4 %				
	特定財源の名称		被災した子どもの健康・生活対策総合支援事業補助金			保加工施設電気代精算金1,075千円 ふるさと振興基金繰入金1,634千円		-			
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	3	民生費	1	報酬	8,286 千円	会計年度任用職員報酬					
			3	職員手当等	3,057 千円	会計年度任用職員期末・勤勉手当					
	2	児童福祉費	4	共済費	520 千円	会計年度任用職員共済費					
			7	報償費	30 千円	子育てイベント記念品					
	目	目名称	8	旅費	173 千円	会計年度任用職員通勤手当、職員研修					
			10	需用費	4,346 千円	屋内遊び場事業消耗品、光熱水費、施設・遊具修繕等					
	3	児童健全育成費	11	役務費	76 千円	電話料、建物災害共済					
12			委託料	476 千円	遊具等定期点検、消防設備点検、施設警備						
事業の目的	震災や原発事故により、屋外で安心して遊べない状況を解消することを目的に屋内に大型遊具等を設置し、子どもたちの遊びや運動の機会を提供する。										
事業の概要	体育館内に大型遊具のほか子どものおもちゃを用意し、未就学児及び小学生の子どもと保護者が自由に遊べる場を無料で提供。										
事業の効果	屋内であり、天候に左右されず利用することができるため、土日等休日を中心に多くの親子連れが利用し、子どもたちに遊びや運動の場を十分に提供できている。										
次年度以降の見込み	運営を継続する方向であるが、運営費用の3分の2が県補助であるため、今後の補助の動向を注視しながら、他の子育て支援施設と合わせ、遊びの場の提供を検討していく。										

令和6年度「幼児ことばの教室事業（くにみ幼稚園）」の概要

所管課名	教育総務課	所管係名	くにみ幼稚園	※構成比の不一致は端数整理によるものです。			
総合計画上の 位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり	前 年 度	当初予算額	249 千円	
	政 策 名	1	安心して子どもを産み育てられるまち		補正額（12月補正まで）	0 千円	
	施 策 名	1	子育て支援の推進		最終予算額	249 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
	金 額	171 千円	国庫支出金 0 千円	県支出金 0 千円	地方債 0 千円	その他 0 千円	171 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
		10	教育費	8	旅費	66 千円	研修旅費
				10	需用費	28 千円	言語指導教材等
		項	項名称	11	役務費	36 千円	電話料【36千円 教育施設課分】
		4	幼稚園費	18	負担金補助金及び交付金	41 千円	研修参加負担金
						千円	
目	目名称			千円			
1	幼稚園費			千円			
事業の目的	言語障がい及び言葉の発達の遅れがみられる未就学児を対象とした言語指導を行うことにより、発音の改善や円滑なコミュニケーション力の育成を図る。						
事業の概要	言語障がい及び言葉の発達の遅れがみられる未就学児を対象に定期的な言語指導、保護者への助言を行う。						
事業の効果	幼児期において、早期の段階で指導を行うことにより、改善の効果が期待できる。						
次年度以降の見込み	次年度以降も継続して行う。						



令和6年度「社会教育事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前 年 度	当初予算額	9,193 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	生涯学習の推進			最終予算額	9,193 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	10,315 千円	千円	1,268 千円	千円	215 千円	8,832 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	12.3 %	0.0 %	2.1 %	85.6 %
特定財源の名称			子どもがふみだすふくしま復興体験応援事業1,268千円		利子および配当金5千円 雑入210千円		-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育総務費	1	報酬	4,282 千円	社会教育委員(168千円)、会計年度任用職員(4,114千円)	
			3	職員手当等	1,519 千円	会計年度任用職員(1,519千円)	
	5	社会教育費	7	報償費	606 千円	講師等謝礼(399千円)、はたちの成人のつどい記念写真(207千円)	
			8	旅費	343 千円	普通旅費(320千円)、会計年度任用職員通勤手当(23千円)	
			10	需用費	864 千円	消耗品費(483千円)、はたちの成人のつどい式典費(77千円)、給食費(175千円)、印刷製本費(129千円)	
	1	社会教育総務費	11	役務費	249 千円	はたちの成人のつどいクリーニング(60千円)、公民館総合補償(189千円)	
			12	委託料	1,570 千円	各事業バス送迎(1,365千円)、はたちの成人のつどい記念品作成(198千円)、駐車場案内(7千円)	
			18	負担金補助及び交付金	876 千円	伊達地社連負担金他(22千円)、青少年育成町民会議補助金他(854千円)	
		24	積立金	6 千円	文教施設整備基金利子(6千円)		
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 社会教育の振興のために社会教育法に基づく社会教育委員及び社会教育指導員を設置し、社会教育事業を推進する。 次世代を担う二十歳の者を祝福するとともに社会の一員としての自覚を促す式典を開催する。 					 	
事業の概要	社会教育委員・社会教育指導員に要する経費、社会教育事業に関する経費、はたちの成人のつどいに関する経費、青少年育成町民会議等への補助						
事業の効果	社会教育事業の推進が図られる。						
次年度以降の見込み	継続的な取り組みが必要。					 	

令和6年度「観月台文化センター事業」の概要

創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	264,089 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				補正額(12月補正まで)	16,445 千円
	施 策 名	2	芸術文化の振興				最終予算額	280,534 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	155,548 千円	千円	千円	100,000 千円	1,100 千円	54,448 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	64.3 %	0.7 %	35.0 %	
	特定財源の名称				改修事業債(過疎)30,000、改修事業債(緊防債)25,000、LED化事業債(脱炭素債)45,000、	施設使用料1,000、印刷等実費収入100	-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	1	報酬	77 千円	文化センター管理運営委員77		
			2	給料	2,157 千円	会計年度任用職員給料2,157		
			3	職員手当等	812 千円	会計年度任用職員期末手当等812		
	項	項名称	4	共済費	216 千円	会計年度任用職員共済組合216		
	5	社会体育費	8	旅費	23 千円	文化センター管理運営委員費用弁償23		
			10	需用費	21,566 千円	消耗品費1,900、燃料費6,504、光熱水費12,162、修繕料1,000		
			11	役務費	2,168 千円	通信運搬費932、手数料730、火災保険料426、損害保険料80		
	目	目名称	12	委託料	30,640 千円	保守点検、施設清掃・管理等19,399、公共施設予約システム保守1,241、設計監理10,000		
	3	文化センター費	13	使用料及び賃借料	873 千円	テレビ受信料・電波使用料61、A E D・清掃用具・印刷・コピー機借上料812		
14			工事請負費	97,000 千円	設備等修繕工事2,000、設備更新工事95,000			
26			公課費	16 千円	自動車重量税16			
事業の目的	観月台文化センターが持つ機能や設備を活用した学習、文化芸術活動の推進							
事業の概要	観月台文化センター（図書館を除く）の維持管理を行うもの							
事業の効果	施設利用者の利便性の向上と施設の適正な維持管理を図ることによって、維持管理費を抑えて施設寿命を延長する							
次年度以降の見込み	適正なメンテナンスと経年劣化した設備・機器の計画的更新を行い、適正な管理を継続する							

令和6年度「図書館事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。						
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前 年 度	当初予算額	8,558 千円				
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額(12月補正まで)	0 千円				
	施 策 名	1	生涯学習の推進			最終予算額	8,558 千円				
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
	金 額	17,545 千円	国庫支出金	0 千円	県支出金	4,000 千円	地方債	0 千円	その他	0 千円	13,545 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	22.8 %	0.0 %	0.0 %	77.2 %				
	特定財源の名称		ICT推進事業費補助金4,000千円				-				
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細					
	10	教育総務費	1	報酬	109 千円	図書館協議会委員(109千円)					
			2	給料	2,573 千円	会計年度任用職員(2,573千円)					
			3	職員手当等	1,075 千円	会計年度任用職員(968千円)、会計年度任用職員通勤手当(107千円)					
	5	社会教育費	4	共済費	260 千円	会計年度任用職員(260千円)					
			7	報償費	828 千円	子ども移動図書館指導員他(808千円)、子ども司書活動記念品(20千円)					
			8	旅費	155 千円	子ども司書フェスタ講師等(97千円)、普通旅費(58千円)					
	4	図書館費	10	需用費	924 千円	消耗品費(744千円)、給食費(30千円)、印刷製本費(150千円)					
			11	役務費	131 千円	相互貸借郵送料(131千円)					
			12	委託料	9,985 千円	音響照明業務(132千円)、バス送迎(55千円)、図書管理システム保守(1,798千円)、システム構築(8,000千円)					
	4	図書館費	13	使用料及び賃借料	264 千円	図書館流通センターシステム利用料(264千円)					
			17	備品購入費	1,200 千円	図書購入費(1,200千円)					
			18	負担金補助及び交付金	41 千円	日本図書館協議会(37千円)、福島県公共図書館協会(4千円)					
	事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 図書館法並びに図書館運営方針及び資料収集方針に基づき、読書を通じて心の豊かさを育む「読書の町・国見」の推進を図るもの。 子ども読書活動推進計画に基づき、読書に親しみ、楽しみ、調べ、考える成長段階に応じた活動・環境づくりを目指すもの。 					 				
	事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> 一般書や郷土資料といった幅広い図書の収集、除籍、貸出等の図書館の適正な運営 図書館協議会、子ども読書活動推進会議、子ども移動図書館・司書活動・講座等の開催 図書管理システム構築・更新(令和6年度) 					 				
	事業の効果	<ul style="list-style-type: none"> 読書活動の推進により利用者の豊かな心を育む。 図書資料の収集による地域の情報拠点としての機能の向上。 									
	次年度以降の見込み	継続的な取り組みが必要。									

令和6年度「芸術文化振興事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり		前 年 度	当初予算額	9,806 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	2	芸術文化の振興			最終予算額	9,806 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	13,661 千円	千円	千円	千円	1,700 千円	11,961 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	12.4 %	87.6 %
	特定財源の名称						入場料収入1,700
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育費	7	報償費	249 千円	講師謝礼205、賞品44	
			8	旅費	95 千円	費用弁償84、普通旅費11	
	項	項名称	10	需用費	1,250 千円	消耗品費100、給食費等150、印刷製本費1,000	
	5	社会教育費	11	役務費	146 千円	ピアノ調律146	
			12	委託料	10,304 千円	芸術鑑賞7,000、音響等操作1,100、機器保守2,204	
	目	目名称	13	使用料及び賃借料	75 千円	著作権使用料75	
5	芸術文化振興費	18	負担金補助及び交付金	1,542 千円	公文教負担金30、公演開催地負担金712、町文連等補助金800		
					千円		
事業の目的	優れた文化芸術に触れる機会の拡充と文化芸術活動の推奨を図り、文化意識の高揚に務める						
事業の概要	文化芸術振興アクションプランに基づく①文化芸術への場の提供、②鑑賞機会の提供、③文化芸術の普及・啓発を行うもの						
事業の効果	町の文化芸術振興の拠点として、町民の活動発表の場及び高い舞台芸術鑑賞の場の提供となる						
次年度以降の見込み	年間を通してホールを中心とした文化芸術振興事業の展開を継続する 適正なメンテナンスと経年劣化した設備・機器の計画的更新を行い、適正な管理を継続する						



令和6年度「地域学校協働本部事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	生涯学習係			
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来へつなげるまちづくり		前 年 度	当初予算額	15,863 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	生涯学習の推進			最終予算額	15,863 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	37,518 千円	千円	11,000 千円	千円	24,264 千円	2,254 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	29.3 %	0.0 %	64.7 %	6.0 %
	特定財源の名称				地域学校協働活動支援事業 11,006千円	ふるさと振興基金繰入金24,264千円	—
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	10	教育総務費	7	報償費	6,492 千円	協働本部・学校支援・放課後支援・学習支援・家庭教育支援コーディネーター及び支援員(6,492千円)	
			8	旅費	1,091 千円	各コーディネーター費用弁償他(955千円)、コーディネーター研修普通旅費(136千円)	
	5	社会教育費	10	需用費	966 千円	各事業消耗品費(856千円)、印刷製本費(110千円)	
			11	役務費	159 千円	協働本部スマートフォン利用料(159千円)	
	2	地域学校協働本部費	12	委託料	28,810 千円	各事業バス送迎(880千円)、公営塾運営(11,100千円)、地域おこし協力隊活動サポート委託(16,830)	
				目 目名称		千円	
					千円		
					千円		
					千円		
事業の目的	学校と地域が相互に協力関係を深め、地域総ぐるみの教育を実現を目指すことにより、地域に根差した人間性豊かな子どもの育成を図るとともに地域学校協働活動を通して地域の活性化を図るもの。					 	
事業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援コーディネータによる地域ボランティアを活かした総合学習の時間を中心とした学校支援 ・学習支援コーディネーターによる学習支援ボランティアによる夏冬休み・受験期の学習支援 ・放課後支援コーディネーターによる放課後体験活動支援 ・公営塾による学習支援（常設）及び地域活動支援 					 	
事業の効果	学校を中心とした地域人材の活用及びつながりの強化が図られる。						
次年度以降の見込み	継続的な取り組みが必要。						

令和6年度「保健体育事業」の概要

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係		※構成比の不一致は端数整理によるものです。					
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	5,568 千円			
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				補正額（12月補正まで）	1,320 千円			
	施 策 名	3	スポーツの推進				最終予算額	6,888 千円			
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他					
	金 額	8,578 千円		千円	千円	千円	3,424 千円		5,154 千円		
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	39.9 %		60.1 %		
	特定財源の名称						事業収入140、施設利用料44、スポーツ振興くじ助成金3,240			-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細				
		10	教育費	1	報酬	390 千円	スポーツ推進委員390				
7				報償費	1,010 千円	講師謝礼等104、激励金280、大会賞品626					
項		項名称	8	旅費	158 千円	費用弁償94、普通旅費64					
6		保健体育費	10	需用費	266 千円	スポーツ教室・各種大会消耗品等266					
			11	役務費	15 千円	クリーニング15					
目		目名称	12	委託料	550 千円	大会交通整理等70、スポーツ教室等バス送迎300、スポーツ教室委託180					
1	保健体育総務費	13	使用料及び賃借料	348 千円	スポーツ教室・大会入場料168、スポーツ教室機材借上料180						
		18	負担金補助及び交付金	5,841 千円	大会負担金150、諸協会負担金等66、町体協・スポ少補助金925、市町村対抗補助金1,100、スポーツクラブ運営補助金3,600						
事業の目的	幼年期から高齢期までの誰もが主体的な健康づくりやスポーツの習慣化を促進することで、幸福感と健康増進を図る										
事業の概要	スポーツ推進委員活動、スポーツ教室・大会の開催、社会体育団体の育成補助・大会参加補助、総合型地域スポーツクラブの運営										
事業の効果	スポーツの自主的な活動を促す 国見町総合型地域スポーツクラブの運営により多世代に多様な健康づくりの機会を創出することで町民の健康の維持増進に貢献する										
次年度以降の見込み	多方面（文化団体、学校、福祉）との連携も図りながら継続的に取り組む										

令和6年度「体育施設事業」の概要

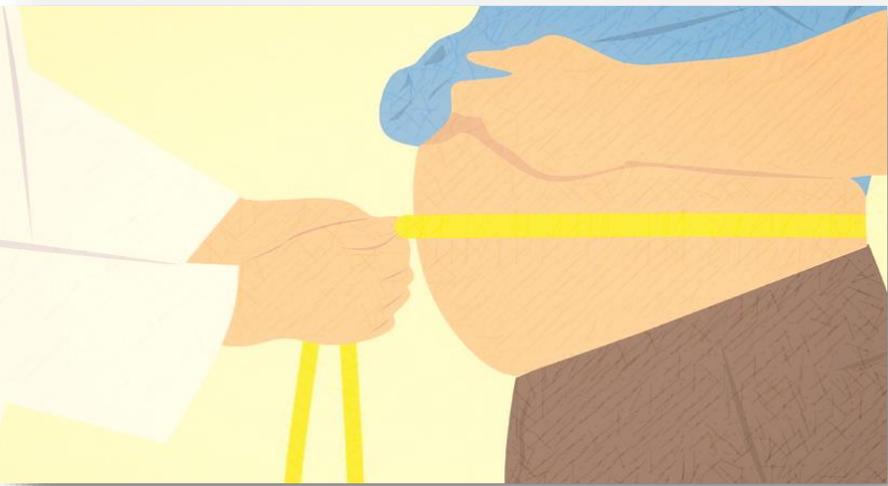
創生・過疎

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	生涯学習課		所管係名	文化スポーツ係				
総合計画上の位置付け	目 標	3	未来につながるまちづくり			前 年 度	当初予算額	114,526 千円
	政 策 名	3	誰もがいつまでも学び続けられるまち				補正額（12月補正まで）	3,430 千円
	施 策 名	3	スポーツの推進				最終予算額	117,956 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	60,238 千円	千円	千円	30,000 千円	5,000 千円	25,238 千円	
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	49.8 %	8.3 %	41.9 %	
	特定財源の名称				改修事業債（緊防債）5,800、LED化事業債（脱炭素債）24,200	体育施設使用料5,000	-	
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細		
	10	教育費	10	需用費	10,021 千円	消耗品費600、燃料費65、光熱水費8,256、修繕料1,100		
			11	役務費	899 千円	通信運搬費228、各種法定検査等手数料276、火災・損害保険料395		
	項	項名称	12	委託料	20,335 千円	建物・設備に係る保守点検、施設清掃等11,911、機器設置1,375、公共施設予約システム保守1,241、設計監理5,808		
	6	保健体育費	13	使用料及び賃借料	241 千円	テレビ受信料15、A E D・清掃用具借上料224、共架電柱使用料2		
			14	工事請負費	28,742 千円	施設修繕1,100、設備更新工事27,642		
	目	目名称			千円			
2	体育施設費			千円				
事業の目的	体育施設の充実と効果的運営を図ることで、町民の心身の健全な発達及び豊かな人間性の醸成に寄与する					 		
事業の概要	①上野台運動公園（上野台体育館、テニスコート、総合運動場、グリーンアリーナ923、柏葉体育館）、森江野町民センター森江野第2体育館の維持管理を行うもの ②上野台運動公園の設備更新							
事業の効果	上記施設の有効活用と利便性の向上を図ることができる							
次年度以降の見込み	各施設の利用状況の把握と適正なメンテナンスと経年劣化した設備・機器の計画的更新を行い、適正な管理を継続する							

令和6年度「【国保特会】国保ヘルスアップ事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係			
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	6,247 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち（保健）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	地域医療連携の推進			最終予算額	6,247 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	10,018 千円	0 千円	10,018 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %
	特定財源の名称		○特別交付金 ・調整交付金/県2号繰入金				-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細
4		保健事業費	1	報酬	4,110 千円	会計年度任用職員報酬	
			7	報償費	416 千円	保健指導員報償	
1		保健事業費	8	旅費	20 千円	通勤手当（保健指導員）	
			10	需用費	103 千円	保健指導用パンフレット	
目		目名称	11	役務費	34 千円	受診勧奨郵便料	
			12	委託料	5,335 千円	特定健診未受診対策事業、健康運動教室、糖尿病性腎症重症化予防保健指導等	
1	疾病予防費			千円			
				千円			
事業の目的	国保被保険者を対象に特定健康診査、特定保健指導を実施し、国民健康保険医療費の抑制と生活習慣病や糖尿病性腎症の重症化予防を図る。また、健康運動教室により自らが健康状態を自覚して健康増進に取り組むよう支援をする。						
事業の概要	特定健診時の特定保健指導等に関わる保健師等を配置。受診率向上対策、重複・頻回受診の指導、多剤併用服薬者指導、糖尿病性腎症重症化予防保健指導、健康運動教室等。						
事業の効果	特定健診受診率：R3年度47.8% R4年度51.0% R5年度見込45.9%（夏総合健診迄） メタボ該当者率：R3年度19.2%（57位）R4年度20.4%（56位）R5年度見込21.0%（46位） ※（ ）内は福島県内順位。R5年度は集計途中のため変動あり。						
次年度以降の見込み	継続実施						

令和6年度「【後期特会】保険料等負担金（納付金）」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	ほけん課		所管係名	国保係			
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	147,472 千円
	政 策 名	1	いつまでも健康に暮らせるまち（保健）			補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	1	地域医療連携の推進			最終予算額	147,472 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	158,714 千円	千円	千円	千円	7,616 千円	151,098 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	4.8 %	95.2 %
	特定財源の名称					一般会計繰入金	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	2	後期高齢者医療広域 連合納付金	18	負担金補助及び交付金	158,714 千円	保健事業負担金、保険基盤安定負担金、保険料等負担金（特別徴収、普通徴収）	
		項 項名称			千円		
	1	後期高齢者医療広域 連合納付金			千円		
		目 目名称			千円		
	1	後期高齢者医療広域 連合納付金			千円		
事業の目的	後期高齢者医療制度の財源となる保険料、保健事業等の負担金を福島県後期高齢者広域連合に支払うもの。					<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p style="text-align: center; color: orange; font-weight: bold;">フレイルの進行を防ぐ生活習慣のポイント</p> </div>	
事業の概要	後期高齢者被保険者からの保険料、保健事業（健康診査等）の町負担分、国からの保険基盤安定負担金（後期高齢者分）を制度運営の主体者である福島県後期高齢者広域連合に支払うもの。						
事業の効果	安定的な制度運営が図られ、高齢者が安心して医療を受けたり、健康に生活できるようになる。						
次年度以降の見込み	継続実施						

令和6年度「介護保険特別会計（地域支援事業）」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	福祉課		所管係名	長寿介護係				
総合計画上の位置付け	目 標	1	健やかに暮らせるまちづくり		前 年 度	当初予算額	66,399 千円	
	政 策 名	2	共に支えあい暮らせるまち			補正額（12月補正まで）	千円	
	施 策 名	2	介護予防・支援の推進			最終予算額	66,399 千円	
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	70,948 千円		26,097 千円	11,647 千円	千円	21,890 千円	11,314 千円
	構成比	100.0 %		36.8 %	16.4 %	0.0 %	30.9 %	15.9 %
	特定財源の名称			●介護予防・日常生活支援総合事業 ●介護保険保険者努力支援交付金 ●保険者機能強化推進交付金	●介護予防・日常生活支援総合事業	●支払基金交付金 ●介護保険料	●繰入金(一般会計)	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		4	地域支援事業費	2,3,4	給料、職員手当、共済費等	4,177 千円	介護予防事業会計年度任用職員(給料2,542、職員手当1,027、共済費259、退職手当組合負担金349)	
				7	報償費	640 千円	介護予防事業講師謝礼310、地域ケア会議助言者150、リハビリ専門職等講師派遣180	
		項	項名称	8	旅費	38 千円	認知症初期集中支援チーム研修旅費	
				10	需用費	568 千円	介護予防事業等消耗品201、会議費(ささえ愛・認知症カフェ)30、印刷製本費337	
1		地域支援事業費	11	役務費	766 千円	郵便料105、リハビリ・骨粗派遣手数料360、介護予防サポーター損害保険77、成年後見120、審査支払手数料104		
			12	委託料	36,087 千円	地域包括支援センター17,817、包括システム保守582、認知症地域支援推進員5,073、生活支援コーディネーター5,870 健康運動指導士172、配食サービス2,800、認知症支援チーム607、QRコード70、認知症VR315、在宅医療介護支援センター2,781		
1.2		1:介護予防・生活支援サービス事業費	13	使用料及び賃借料	338 千円	包括システム使用料		
3.4		3:包括支援事業・任意事業 4:審査支払手数料	18	負担金補助及び交付金	24,441 千円	介護予防サービス費(総合事業)24,043、成年後見人336、認知症支援チーム研修50、伊達ネットワーク12		
	19		扶助費	3,893 千円	紙おむつ給付3,762、介護者慰労金100、徘徊高齢者GPS31			
事業の目的	被保険者が要介護状態または要支援状態となることを予防し、日常生活において必要なサービス等を行うことで、高齢者が社会に参加しつつ、地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援する。							
事業の概要	地域包括支援センターを設置し、様々な相談に応じ必要な支援を行うほか、「通いの場」等の介護予防事業や認知症支援事業等を行う。また、生活支援コーディネーターを配置し「くにみささえ愛」事業など高齢者を地域で支えあう仕組みづくりを行う。 令和6年10月より伊達地方在宅医療・介護連携支援センター設置（4月伊達医師会委託）。							
事業の効果	①地域包括支援センター（令和5年12月末累計） 介護予防支援事業・総合事業 契約者数912人、総合相談件数562人 ②通いの場 20カ所(自主化) ③居場所 5カ所 ④生活支援コーディネーター1人社協に配置							
次年度以降の見込み	継続実施							



令和6年度「【水道事業】水道施設整備事業（単独事業）」の概要

所管課名	上下水道課		所管係名	水道係	※構成比の不一致は端数整理によるものです。		
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前 年 度	当初予算額	50,000 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	千円
	施 策 名	3	上下水道の整備			最終予算額	50,000 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	38,000 千円	千円	千円	千円	千円	38,000 千円
	構成比	100.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	1	資本的支出	1	工事請負費	38,000 千円	配水管布設替工事等	
		項			千円		
		項名称			千円		
	1	建設改良費			千円		
		目			千円		
	目名称			千円			
	2	配水設備費			千円		
					千円		
事業の目的	安全で安心した水道水の安定供給を図るため、給水区域内における老朽化した配水管の布設替えを進めることを目的とする。					 <p>管布設状況</p> <p>地面からの深さ 検測</p>	
事業の概要	配水管布設替工事等（5箇所） L=465m 配水管布設箇所における舗装復旧工事（1箇所） L=185m 減圧弁設置工事（1箇所）						
事業の効果	将来にわたり安定で良質な水道水の給水確保が実現できる。						
次年度以降の見込み	給水区域内における配水管等の維持修繕。						

令和6年度「【水道事業】生活基盤施設耐震化等交付金事業（補助事業）」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	上下水道課		所管係名	水道係			
総合計画上の位置付け	目 標	2	安全・安心な優しいまちづくり		前年度	当初予算額	38,700 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち			補正額（12月補正まで）	27,000 千円
	施 策 名	3	上下水道の整備			最終予算額	65,700 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
	金 額	42,076 千円	10,805 千円	千円	20,000 千円	11,000 千円	271 千円
	構成比	100.0 %	25.7 %	0.0 %	47.5 %	26.1 %	0.6 %
	特定財源の名称		生活基盤施設耐震化等交付金（294頁）		水道事業企業債（294頁）	一般会計出資金（294頁）	-
内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
	1	資本的支出	1	備用品費	69 千円	事務用品	
			2	賃借料	31 千円	コピー機使用料	
	項	項名称	3	工事請負費	41,976 千円	生活基盤施設耐震化等交付金事業	
	1	建設改良費			千円		
					千円		
目	目名称			千円			
1	配水設備拡張費			千円			
				千円			
事業の目的	災害等の緊急時における給水拠点確保のために、重要給水施設への配水管について耐震化をし、水道基盤の強化を図ることを目的とする。						
事業の概要	避難所等重要給水施設への配水管（基幹管路）布設替・耐震化事業 ・配水管布設替工事（1箇所） L = 100m ・配水管布設完了箇所の舗装復旧工事（3箇所） L = 1,360m						
事業の効果	重要給水施設配水管の耐震化等、水道基盤強化が図られる。						
次年度以降の見込み	・配水管布設替工事 L = 200m						



減圧弁設置状況

令和6年度「【下水道事業】下水道整備事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	上下水道課		所管係名	下水道係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安心・安全な優しいまちづくり			前 年 度	当初予算額	3,500 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち				補正額（12月補正まで）	0 千円
	施 策 名	3	上下水道の整備				最終予算額	3,500 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	5,000 千円		千円	千円	千円	2 千円	4,998 千円
	構成比	100.0 %		0.0 %	0.0 %	0.0 %	0.0 %	100.0 %
	特定財源の名称						受益者負担金 下水道工事負担金	-
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		1	資本的支出	1	工事請負費	5,000 千円	公共汚水柵設置工事	
						千円		
		項	項名称			千円		
		1	建設改良費			千円		
					千円			
	目	目名称			千円			
	1	管路建設改良費			千円			
					千円			
事業の目的	生活環境の改善と公衆衛生の向上に寄与し、併せて公共用水域の水質の保全に資する。							
事業の概要	宅地造成等により、下水道使用に伴う公共汚水柵の設置（7箇所）							
事業の効果	利用者が衛生的かつ快適に生活を営むことができる。							
次年度以降の見込み	衛生的な生活環境の保全や公共用水域の保全のため、下水道未接続世帯の解消、普及促進を図る。							



公共汚水柵設置

令和6年度「【下水道事業】下水道施設管理事業」の概要

※構成比の不一致は端数整理によるものです。

所管課名	上下水道課		所管係名	下水道係				
総合計画上の位置付け	目 標	2	安心・安全な優しいまちづくり			前 年 度	当初予算額	5,659 千円
	政 策 名	3	環境に優しいまち				補正額（12月補正まで）	722 千円
	施 策 名	3	上下水道の整備				最終予算額	6,381 千円
予 算 額	総事業費		特 定 財 源				一般財源	
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
	金 額	6,770 千円		1,350 千円	千円	千円	5,420 千円	0 千円
	構成比	100.0 %		19.9 %	0.0 %	0.0 %	80.1 %	0.0 %
	特定財源の名称		社会資本整備総合交付金			下水道使用料	-	
	内 訳	款	款名称	節	節名称	予算額	明 細	
		1	下水道事業費用	5	旅費	5 千円		
				6	備用品費	20 千円		
		1	営業費用	7	光熱費	144 千円	マンホールポンプ電気料	
				8	通信運搬費	70 千円	マンホールポンプ電話料	
1		管渠費	9	委託料	4,507 千円	マンホール及びマンホールポンプ点検		
			10	手数料	256 千円	水質調査		
1		管渠費	11	賃借料	268 千円	長寿命化データ処理システム賃借料		
	12		工事請負費	1,500 千円	マンホール補修工事等			
事業の目的	下水道施設の適切な維持管理を行うことにより、将来にわたって安定的な下水道機能を確保する。							
事業の概要	公共下水道汚水管渠施設の維持管理のため業務委託及び工事等を行う。 ・マンホール点検（220箇所）							
事業の効果	計画的な維持補修を実施し、施設の延命化を図る。							
次年度以降の見込み	継続して維持管理に努める。							



マンホール点検業務